

# 関嘉彦関係文書目録

国立国会図書館憲政資料室  
2015.4.21改訂

## 凡 例

### 【分類】

本文所は、以下の構成で収録した。

- I 研究関連抜き書き・論文草稿
- II スクラップブック等
- III (補)スクラップブック詳細リスト
- 付 都立大学への寄贈資料

### 【項目】

- I 資料番号(本番号・枝番号)、主なタイトル、著編者、個別タイトル、備忘・概要、点数、形態
- II 資料番号(本番号・枝番号)、形態、タイトル、年月、備忘・概要
- III (補) IIの各スクラップブックに収録されている記事の著者、タイトル、掲載紙誌、年月日
- 付 編著者名、書名、発行年

研究関連抜き書き・論文草稿

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
1	-1 外国語講演原稿	Yoshihiko Seki	Japanese Progressive Intellectuals' View on the International Politics	「日本社会党の原稿」と題する封筒に一括	13枚, 3枚	タイプ原稿
	-2	Yoshihiko Seki	Ideological Aspects of Socialist Parties in Post-War Japan	「日本社会党の原稿」と題する封筒に一括	28枚	タイプ原稿、ペン
	-3		Results of General Elections for House of Commons	「日本社会党の原稿」と題する封筒に一括	3枚	手書き謄写
	-4	Yoshihiko Seki	Through Japanese Eyes	Socialist Commentary, Feb., 1958, pp.11-12	1部(31頁)	印刷物
	-5	Yoshihiko Seki	The Communist's impact on the social reform movement in Japan	関嘉彦宛封書入、発信者: the New Leader, 7 East 15th Street, New York 3, N. Y., 消印 1959.5.22	32枚	タイプ原稿
	-6	Yoshihiko Seki	New Trends in Japanese Socialism	Japan Quarterly, Vol. VII. No.2, April-June 1960, pp. 142-151	10枚 同文2部	タイプ原稿
	-7	Yoshihiko Seki	The Tasks and Ideology of the Japan Socialist Party	要約が、Socialist International Information, Vol. 6 No. 37, Sep. 15 1956。在日ユーゴスラヴィア共和国大使館一等書記官Mladen Soic)の名刺添付	20枚 名刺1枚	タイプ原稿
	-8	Yoshihiko Seki	Can Democracy Survive in Japan?	The Japan Foundation Newsletter, Vol. 5, No.4, October 1977, pp. 5-12	1部(24頁)	印刷物
	-9	Yoshihiko Seki	History and Characteristics of the Socialist Movement in Japan	「日本とユーゴスラヴィアの文化交流を想定している、日本の社会主義運動のヨーロッパとの異同を話して皆さんの日本理解の一助に資したい」と手書き	19枚	タイプ原稿
	-10	Yoshihiko Seki	Democracy and Japanese Intellectuals: The Concept of Democracy in Postwar Japan as Reflected in Magazine Articles		21枚	タイプ原稿
	-11	Yoshihiko Seki	Democracy in Postwar Japan		20枚、添付1枚	タイプ原稿
2	政党法制関係ノート		Law of Political Party, etc, France, Italy, Osterreich, Deutchland, Sweden, England 1989/6/6-24	フランス、イギリス、西ドイツ、オーストリア、イタリア、スウェーデンにおける、政党に関する法制度や選挙制度についての研究ノート メモ、切抜「選挙制度を考える」『朝日新聞』1989.7.4~7.8	1冊、他18枚	ノート、新聞切り抜き、手書きメモ
3	-1 歴史の終り? 1989年	村上泰亮	「世紀末の保守と革新」『中央公論』1990.1、100-137頁	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物
	-2	永井陽之助・江藤淳	「特別対談『歴史の終り』に見えるもの」『文藝春秋』1990.1、94-116頁	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物
	-3	入江隆則	「歴史は終わったか 共産主義終焉のあとに来るもの」、30-41頁	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物
	-4	フランシス・フクヤマ、小西昭之	「『歴史の終末』再論」『知識』1990.1、34-42頁	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物
	-5		「世界と入江隆則の論文『歴史の終り?』 フランシス・フクヤマ氏」『毎日新聞』1989.10.22朝刊	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物
	-6	サミュエル・P・ハンティントン	「出口のない『終焉論』の誤り フクヤマ論文『歴史は終わったのか』に反駁する」『月刊Asahi』1990.1	「歴史の終り?」と題する封筒に一括		印刷物

研究関連抜き書き・論文草稿

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
-7			メモ	「歴史の終り？」論に対する感想メモ	5枚	手書き
-8		Francis Fukuyama	A Reply to My Critics, The National Interest, Winter 1989/90		8枚	FAX感熱紙
-9			「90年代の主役 F・フクヤマ米国国務省政策計画部次長」『産経新聞』1990.1.8朝刊		1枚	複写
-10		船橋洋一	「経済地球儀 冷戦時代が懐かしい」『朝日新聞』1990.10.18朝刊	フクヤマ「歴史の終焉」論批評	1枚	複写
-11			「民主主義がやはり思想上の終着点」『産経新聞』1989.12.12朝刊	フクヤマによる再反論の紹介	1枚	複写
-12			「新・共存時代」『東京新聞』1990.1.19朝刊	フクヤマ、思想の相克終わる	1枚	複写
-13			メモ: F. Fukuyama, The Ends of History?		3枚	手書き
-14		Francis Fukuyama	The End of History?, The National Interest, Summer 1989		16枚	複写
-15		色摩力夫	「『自由民主主義』で歴史は終わらない F・フクヤマ批判」『中央公論』1992.6、138-147頁			印刷物
-16		会田弘継	「アメリカニズム再定義の闘い」『中央公論』1992.10、124-143頁			印刷物
-17		古森義久	「『歴史の終わり』のF・フクヤマに聞く 日本の挑戦が『歴史』をひらく」『中央公論』1992.5 90-99頁			
-18			Francis Fukuyama, The End of History	メモ(批評)	25枚	手書き
-19			「『歴史の終わり』 私はこう読んだ」『週刊文春』1992.3.27 216-220頁			
-20			山内昌之「歴史は終わったか」『現代』1992.8		12枚	感熱紙
4	労働党関係史料・メモ			労働党の結党関係等の史料から、関氏が重要箇所を摘記したもの	ファイル1冊	手書き、コピー他
5	ISSUE BRIEF	国立国会図書館	Number0107 政治倫理と資産公開(全訂版)01/08/89		綴じもの1冊	綴じ
6	ISSUE BRIEF	国立国会図書館	Number0117 アメリカの政治改革19/12/89		綴じもの1冊	綴じ
7	ISSUE BRIEF	国立国会図書館	Number0118 議員の待遇20/12/89 日・米・英・仏・西独の議員歳費・手当等		綴じもの1冊	綴じ
8	サンケイ新聞英訳文 アメリカ新聞掲載分	Yoshihiko Seki	1983年前半(主に1-2月)、Trade Barriers are Isolating Japan 他	関嘉彦宛送状 翻訳サービスセンター 1983.2.24,5.11	14点	コピー他
9	複写論文入り封書	蠟山政道追想集刊 行会	大内兵衛『社会主義はどういう現実か』岩波新書1956、144-145頁。小泉信三「平和論」『文藝春秋』1952.1、64-79頁。平和問題談話会研究報告「三たび平和について」『世界』1950.12、21-52頁。大内兵衛「二つの民主主義の共存」『世界』1956.10、15-22頁。坂本義和「中立日本の防衛問題」1959.8、31-47頁。	恐らく、後で別に入れられた新聞コピーあり。鮎川信夫「展望7月 上下 戦後知識人の現実認識」『毎日新聞』1985.7.23夕刊、7.24夕刊。	コピーの綴じ6点	コピー
10	『諸君』1986年1月号 論文資料(ステートの語源も含む)		「<座談会>民主主義をめぐるイデオロギーの対立と日本」『世界』1953.1 72-106頁 「<座談会>戦後民主主義を検討する」『潮』1965.7 62-77頁 「<座談会>体制への不信」『朝日ジャーナル』1966.11.13 頁 清水幾太郎「戦後を疑う」『中央公論』1978.6 58-89頁 勝田吉太郎「国家の崩壊」『Voice』1980.2 78-105頁 江藤淳「1946年憲法—その拘束」『諸君』1980.8 20-65頁		6点	コピー

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
11	社会主義インター、スピーチのコピー		XVIII Congress of the Socialist International, Stockholm, Sweden - June 20-22, 1989, Speech by Yoshihiko Seki, Democratic Socialist Party, Japan 社会主義インターナショナル大会報告書 1989.6.27 民社党 Remarks by Mr.Yoshihiko Seki, M.P.concerning security issues Remarks by Mr.Yoshihiko Seki, M.P.concerning the SI New Declaration [天安門事件に関するコメント] 新聞記事 2点			コピー
12	外交防衛関係新聞切り抜き(朝日、毎日、週刊民社等)		佐々木委員長通常国会代表質問 1989.1.29 民社党・国民連合 6枚 民社党の「自衛隊合憲決議」に対する見所 1981.2.3 日本社会党書記長多賀谷真念 1枚 自衛隊合憲の国会決議問題に関するわれわれの真意—社会党の批判への反論 竹本孫一 3枚			新聞切り抜き
13	スパイ防止法		スパイ防止法 David Cwuppo「Balancing the First Amendment's Guarantee of Free Speech with the United States 21枚 新聞記事 1枚		ファイル1冊	
14	選挙制度改革関連資料		メモ 2枚 オーストリア社会党の概要について 政治議会課 1989.7.12 3枚 諸外国の社会主義政党の政権担当期間 政治議会課 1989.10.30 7枚 西欧諸国の政権政党(1945年以降) 政治議会課 1990.2.9 11枚 『選挙制度改革』森清 1989 『朝日新聞』記事 選挙制度審議会関係 1990.4 3枚		封筒1つ	
15	-1 民社党政治改革委員会報告書類		政治資金規正法(昭和23年7月29日 法律第194号) 活字コピー(書き込みあり) 11枚 政治資金規正法[概要] 活字コピー(朱線入り) 3枚 政治資金規正法[メモ] ペン 3枚 政治倫理綱領・行為規範(昭和60年10月14日議決) 活字コピー(朱線入り) 2枚		封筒1つ	
	-2		政治改革委員会中間報告書 平成元年4月11日 活字コピー 4枚(附 1枚) 政治倫理法及び民社党政治倫理規範/公職選挙法及び政治資金規正法の改正 活字コピー(書き込みあり) 3枚 公職選挙法及び政治資金規正法の改正要綱 民社党政治改革委員会 平成元年4月18日 活字コピー 2枚 政治倫理諸立法に関する緊急の共同政策要綱(案) 活字コピー(書き込みあり) 同文2枚 政治浄化対策に関する提言への回答 活字コピー 2枚 政党に対する国庫補助について 活字コピー 2枚 公職の候補者等の寄附の禁止に関する事項 活字コピー(朱線入り) 1枚 政治資金規正法の主な改正点の比較 平成元年3月25日現在 活字コピー(書き込みあり) 2枚 政治資金規正法の改正について 活字コピー(書き込みあり) 7枚 政党に対する公費補助法案(仮称)要綱 民社党政治改革委員会 活字コピー(書き込みあり) 同文2枚 政党国庫補助法(仮称)に基づく試算 活字コピー 1枚 昭和62年における政党の政治資金収入額の推定(個人収入分も含む) 活字コピー(書き込みあり) 1枚 [資料] 法定得票数、選挙制度一覧 他 活字・ペン(コピー) 2枚 「自民政治改革大綱案まとめる」『読売新聞』1989.5.15 コピー 1枚			

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
-3			政治改革委員会(第1回～5回)の決定事項 平成元年3月23日 ペン(コピー 書き込みあり) 3枚 野党四党共同要綱 ペン 2枚 政治資金規正法の問題点 ペン 3枚 [公職選挙法関係メモ] ペン 2枚 陳述 他 ペン 4枚 政治倫理についての見解 平成元年4月5日 安倍基雄・伊藤英成・田中慶秋 ペン(コピー) 1枚			
16	選挙制度について資料		衆議院議員選挙制度改革案について ペン(コピー) 3枚 高島通敏「政治改革はオーストラリアに学べ」『エコノミスト』1989.4.18 10～15頁 コピー 3枚 森清「政治改革をどう進めるか—衆院小選挙区制二回投票制の提唱」『ビッグ・エー』1989.6.22～29頁 抜き刷り 1冊 森清『選挙制度の改革・国会改革』平成元年5月 活版 90頁 1冊		封筒1つ	
17	海外政党法制資料(約11点)		丸山健「政党法は慎重にすべし—その歴史的背景と問題点を見直す」『世界』1984.4 111～125頁 コピー 8枚 竹内重年「西独政党法の基本的諸問題—連邦憲法裁判所の判決を機縁として」『熊本法学』30号 1981.3 1～21頁 コピー 8枚 西ドイツ政党法について 武田美智代調査 活字 7枚 政党法要綱案の比較 活字 8枚 附[各私案] 活字 10枚 政党法 活字 5枚 [選挙制度 フランス、オーストラリア] 活字 3枚 武田美智代「各党の政治改革案」『ISSUE BRIEF』106 1989.7.21 国立国会図書館 23頁 1冊 大山礼子「政治倫理と資産公開 全訂版」『ISSUE BRIEF』107 1989.8.1 国立国会図書館 11頁 1冊 [文献リスト](独文) 2枚			
18	政治改革に関する新聞切り抜き			1989年頃	46枚	
19	イギリス議員倫理規範		Report from the Select Committee on Member's Interests (Decralation) Session 1974-75 London Her Majesty Stationery Office 活字 1冊 First Report from the Select Committee on Member's Interests Session 1985-86 同上 活字 1冊 Register of Member's Interests on 10th January 1989 同上 活字 1冊 David Cairncross 宛 P.H.Turner 書簡 1989.3.21 (同封)Written Answers, Minister's Private Interests 11枚 Japan's socialists seek to capitalise on LDP woes(新聞記事) 1枚 「Famous Trials」 By Earl of Birkenhead(抜粋コピー) 9枚 [参考文献] コピー 3枚			
20	外国の国庫補助制度概観	国立国会図書館調査及び立法考査局政治議会課	米、英、西独及び仏における選挙運動費用及び政治活動費用(国政レベル)に対する国庫負担概観 1989.8.14		12枚	

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
21	政治改革に関する書類、他党の提案、その比較、有識者会議提案、外国の事例		政治浄化対策に関する提言 政治浄化連盟会長瀬戸山三男 平成元年4月18日 中央執行委員長永末英一宛/政治浄化対策に関する提言への回答 コピー 4枚 提言 政治改革に関する有識者会議 平成元年4月27日 内閣総理大臣竹下登宛 コピー 7枚 政党に対する公費補助実施案・選挙公営化のための公職選挙法の改正 ペン(コピー) 3枚 アメリカ連邦議会における政治倫理規定 ワープロ(コピー) 4枚 いわゆるパーティー券と政治資金規正法いわゆる寄附との関係について コピー 1枚 収支報告書の提出について 東京都選挙管理委員会 昭和63年12月 コピー 6枚 第1回政治改革委員会議事録[自民党] 平成元年1月18日 コピー 2枚 第2回政治改革委員会議事録[自民党] 平成元年1月25日 コピー 2枚 第3回政治改革委員会議事録[自民党] 平成元年2月1日 コピー 2枚 第4回政治改革委員会議事録[自民党] 平成元年2月7日 コピー 2枚 自由民主党倫理憲章 昭和55年11月27日 コピー 4枚 政治倫理法大綱(案) 日本社会党政治改革政策プロジェクト 1989.4.21 コピー 3枚 政治資金規正法改正要綱(案) 同上 1989.4.27 コピー 3枚 政治資金規正法の改正について(案) 公明党政治改革に関する特別委員会 平成元年3月24日 コピー 2枚 政治倫理の改革の確立のために(案) 同上 平成元年3月29日 コピー 3枚 (付)政治倫理法案要綱(案) 「政治倫理法」制定に関する要綱(案) 政権構想研究会 コピー 同文2部(4枚) 政治資金規正法改正要綱(案) 同上 コピー 同文2部(4枚) 国会議員等の資産等の公開に関する法律(要綱案) ユートピア コピー 2枚 政治改革 社民連 コピー 2枚 [新聞記事] 平成元年 18枚 提言だけじゃない、実践もする一政治改革に結束めせる一年生議員の心意気一(武村正義(ユートピア政治研究会)の「やるっきゃない対談」『月刊 SEIKAI』5月 p32-39) 活版 5枚			
22	イギリス政党法関係		Organization of Political Parties in Britain ( A central Office of Information reference pamphlet No174187) May 1987 活版 65頁 1冊 The British Parliament (同上 No56/88) Sep.1988 活版 34頁 1冊 Paying for Politics :The report of the commission upon the financing of political parties. Published by The Hansard Society for Parliamentary Government July 1981 活版(コピー) 27枚 Paying for Party Politics The case for public subsidies. By Dick Leonard (PEP Press release) タイプ(コピー) 2枚 (付)図 1枚			
23	西ドイツ、イギリス政党法制関係		政党法その他の法律を改正する第5次法律[ドイツ] 1988.12 ワープロ 8枚 Paying for Politics The report of the commission upon the financing of political parties. Published by The Hansard Society for Parliamentary Government July 1981 活版(コピー) 25枚 Paying for Party Politics :The case for public subsidies. By Dick Leonard Vol.XLI Broad Sheet n0555 活版(コピー) 31枚			

資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
24	ソ連国内改革(日ソ 円卓会議)		ソ連は変わるか—ソ連共産党協議会の乾燥— 関嘉彦 (「週間民社」1988.7.4 原稿) ワー プロ(コピー) 2枚 ペレストロイカ コピー 3枚 ゴルバチョフ書記長のクラスノヤルスク演説(取り敢えずの評価) ソ連課 昭和63年9月17日 ワープロ 11枚 ゴルバチョフ改革と民族問題—リトアニア・ペレストロイカ擁護運動—一般綱領(案)(仮訳) 『ISSUE BRIEF』90 1989.7.2 新聞記事等(英・邦字紙 他) 活字・コピー 50枚 <日ソ円卓会議及びエストニアの動向> 1袋 日ソ間の諸問題(我が方の基本的立場) 外務省 昭和63年9月9日 コピー 2枚 メモ(日ソ円卓会議 他) ペン 6枚 メモ(ルキヤノフ第一副議長他との面談) 1988.10.19~21 ペン 7枚 極東ソ連軍の増強と活動の活発化(『日本の防衛』昭和63年版 p37~48) コピー 7枚 北方領土問題と日ソ関係について民社党はどう考えますか(『民社党政策ハンドブック Q&A』95~101頁) コピー 4枚 10月の月例懇談会講師紹介 内村剛介「ソビエト的人間と共産主義」昭和63年10月27日 コピー 2枚 新聞記事等(邦・英・露字紙) 1988.8~11月 活字・コピー 17枚		ファイル1冊	
25	-1 各国政党法制関係 資料		<各国政党財政 フランス、ベルギー、オランダ等> 諸外国の政党国庫補助額 断片(コピー) 6枚 メモ(各国選挙運動等) ペン 5枚 メモ(各国政党財政) 鉛筆 10枚		封筒7袋	
	-2		<外国の政党法 西ドイツ政党法関係 坪郷氏寄贈> 政党財政再編に関する報告書—ドイツ連邦共和国大統領によって任命された専門家委員 会の勧告—(調査資料83-1) 国立国会図書館調査立法考査局 昭和59年7月 1冊(208頁) 政党法、西ドイツ政党法他 コピー 19名 政党法及び政治資金関係についての基本論点(案) ドイツ大使館作成 1989.6.12 コピー 3枚 イギリスでの政党への国庫補助をめぐる論議 コピー1枚 政党についての現行法制上の定義 ワープロ 2枚 政党法その他の法律を改正する第5次法律(連邦法律公報第I部2615頁) コピー 6枚 政党の収入額(西ドイツ) 1987年 コピー 2枚 各種選挙制度の利害得失 国会図書館調査局政治議会課 平成元年7月4日 コピー 3枚 政党財政問題と新政党法の評判<議長報告も指摘する問題点> (「フランクフルター・ア ルゲマイネ」1989.6.23)(『海外ニュースガイド』977 1989.7.6 34~38頁) コピー 4枚 欧米主要国の政党の現勢(『レファレンス』453 1988.10 94~95頁) コピー 1枚 岩井奉信「献金の効用 政治家実名リスト公表」(『文藝春秋』1989.7 190~207頁) 活字 10枚 [独文資料] Gesetz über die politischen Parteien(Parteiengesetz)他 コピー 42枚 Die Finanzierung der Parteien コピー 9枚 Haushalt des Bundestages(Einzelplan 02)他 コピー 5枚			
	-3		<西ドイツ政党法関係> Das Regierungssystem der Bundesrepublik Deutschland Thomas Ellwein /JJ Hesse pp179~233 コピー 17枚			



資料番号	主なタイトル	著編者	個別タイトル	備忘・概要	点数	形態
-4			<p>&lt;イタリア&gt;                      イタリア概況 在イタリア日本大使館 平成元年6月3日 コピー 8枚                      イタリア官報 1989.1.18 4枚                      The Italian Political Parties and the State Financial Intervention コピー 17枚</p>			
-5			<p>&lt;オーストリア&gt;                      Rarteiengesetz 他 コピー 19枚</p>			
-6			<p>&lt;スウェーデン国庫補助制度&gt;                      スウェーデン政党への国庫補助法 5枚                      Fact Sheets on Sweden 1枚</p>			
-7			<p>&lt;フランス政党資金法&gt;                      政治資金浄化法 『外国の立法』27巻4号 1988.7                      フランス、西ドイツの政党財政補助関係法令 『外国の立法』28巻4号 1989.9 コピー 11枚                      海外における「政党法」最近の動向 『国会画報』1989.4 コピー 3枚                      Journal Official de la Republique Francaise 他 コピー 13枚</p>			
26	東欧民主化資料・メモ		<p>新樹会「ソ連・東欧セミナー」ツアー 1990.4.25～5.9 最終日程表                      ポーランド共和国社会民主主義(社民党)「規約」(要旨) 1990.1.28 ペン(コピー) 5枚                      同「プログラム宣言」(要旨) 1990.1.28 ペン(コピー) 4枚                      [東欧民主化関係ファイル] 1989年～1991年 ポーランド、ハンガリー、チェコ、東独、ブルガリア、ユーゴスラビア 1冊                      新聞・雑誌記事、メモ、チェコ共産党の行動綱領、ハンガリー社会主義党綱領 他</p>		ファイル1冊	

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
1	スクラップブック	寄稿論文切抜	1959年-1963年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
2	スクラップブック	寄稿論文切抜	1963年-1965年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
3	スクラップブック	寄稿論文切抜	1966年-1970年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
4	スクラップブック	寄稿論文切抜	1970年-1975年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
5	スクラップブック	寄稿論文切抜	1975年-1983年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
6	スクラップブック	関嘉彦I(寄稿論文切抜)	1983年6月-1985年3月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
7	スクラップブック	関嘉彦II(寄稿論文切抜)	1985年-1989年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
8	スクラップブック	関嘉彦III(寄稿論文切抜)	1989年1月-6月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
9	スクラップブック	新聞雑誌寄稿切抜	1989年7月-1990年12月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
10	スクラップブック	関嘉彦	1991年1月-1993年5月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
11	スクラップブック	関嘉彦切抜	1993年6月-1995年11月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
12	スクラップブック	関嘉彦	1995年11月-1998年12月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
13	スクラップブック	関嘉彦	1999年1月-	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
14	スクラップブック	新聞、雑誌論文の切抜(国内問題、政治改革、選挙制度、社会主義、社会党、行政、日の丸)	1989年-	
15	書類	国内問題切抜(非外交)	1993年1月-	
16	スクラップブック	国内問題	1994年6月-1995年5月	
17	スクラップブック	国内問題	1995年冬-1997年10月	
18	ファイル	新聞切抜「国際問題(国連関係を除く)」	1989年6月-1992年	
19	スクラップブック	国際問題	1995年夏-1996年12月	
20	スクラップブック	国際情勢	1996年1月-1998年2月	
21	ファイル	新聞切抜「ヨーロッパ社会主義政党」	1966年-1980年	
22	ファイル	新聞切抜「ソ連・東独・モンゴール 共産主義の崩壊」	1990年-1991年	メモ、論文等も同封
23	ファイル	新聞切抜「政治改革」	1990年-1994年	
24	スクラップブック	国連(PKO)関係記事及び評論(社説を除く)	1990年9月-1993年8月	
25	ファイル	国連関係、(新聞切抜、規約、決議、報告等)	1993年頃	
26	スクラップブック	外交問題	1994年5月-	

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
27	スクラップブック	憲法第九条問題(憲法、憲法改正提案、国連憲章、各党・グループの提言、PKO法案、クウェートと国連)	1991年-1995年頃	
28	スクラップブック	戦争責任、歴史観(1)	1993年8月-1994年7月	
29	スクラップブック	戦争責任(2)	1994年8月-1995年11月	
30	スクラップブック	朝日社説(1)外交防衛憲法	1945年-1981年	
31	スクラップブック	朝日社説(2)外交防衛憲法	1981年-1991年2月	湾岸戦争まで
32	スクラップブック	朝日社説(3)外交防衛	1991年2月-1993年7月	
33	クリアフォルダ	朝日新聞論説委員室「朝日新聞はどう主張してきたか」	1993年6月	コピー40枚
34	封筒	国防についての新聞の切抜(除、朝日社説)	1980年-1981年、1984年	
35	書類	寄稿論文切抜	1973年-	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
36	書類	寄稿雑誌論文切抜	1978年-	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
37	-1 ファイル	国連と安全保障—雑誌論文・記事選集—	1992年7月-1993年4月	香西茂「国際連合の紛争処理機能の動向」『国際問題』390 1992.9 他、国連PKO等に関する論考15本
37	-2 ファイル	国連と安全保障—雑誌論文・記事選集—	1993年4月-8月	森本敏「冷戦後の地域紛争解決と国連の役割」『外交時報』 1993.4 他、国連PKOに関する論考6本
38	-1 書類	雑誌論文 中国、天安門事件	1989年	「参議院」封筒に封入
38	-2 書類	日米関係雑誌論文	1989年	「日本対外文化協会」封筒に封入

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
39	封筒	寄稿論文切抜	1949年-1960年2月	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
39	ファイル	[ソ連ペレストロイカ、東欧問題]	1988年-1990年	
40	封筒	寄稿論文切抜	1960年-1965年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
41	書類	関嘉彦雑誌論文切抜	1966年-1974年	★詳細リストあり →「Ⅱ(補)スクラップブック詳細リスト」を見よ
42	自筆原稿	[原稿] 第1部 非武装で平和は守れない はしがき 1 治にあつて乱を忘れず 2 非武装で平和は守れない 3 非武装で平和は守れない(補論) 4 「最小限の自衛力」と「ソ連の脅威」 5 二年半後の補遺 第2部 歴史の教訓 1 1930年代のイギリス労働党の国際政策 2 1950年代の知識人の国際政治観 第3部 国家観の前進のために 民主社会主義と国家		ペン 原稿用紙 ★第1部はしがき、第1部5、第2部1、第3部の各原稿のみ
43	自筆原稿	[原稿] 1950年代の知識人の国際政治観		ペン 原稿用紙93枚 ★42の第2部2の原稿

スクラップブック等

資料番号		形態	タイトル	年月	備忘・概要
44			寄稿論文切抜	1950年7月、9月	「共産主義と対立する民主的社会主義の根本問題」『中央公論』1950.7 「社会民主主義と国際民主主義」『中央公論』1950.10
45			[関・森嶋論争関連執筆記事]		森嶋通夫「新「新軍備計画論」」『文藝春秋』1979.7 関嘉彦「非武装で平和は守れない」同上 関義彦「治にあつて乱を忘れず」『サンケイ新聞(正論)』1978.9.15 関義彦「非武装で平和は守れない」補論(大論争 戦争と平和)『文藝春秋』1979.7 森嶋通夫「新「新軍備計画論」補論」(大論争 戦争と平和)1979.10 関義彦「最小限の自衛力」と「ソ連の脅威」『改革者』1979.12 森嶋通夫「国防」現実主義者に警告」『毎日新聞(記者の目)』1988.7.29 ★42の原稿関連の記事を含む

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
46		[国連平和維持活動関係資料]		米国議会下院外交委公聴会議事録 1993.6.24 川上洋一「国連軍の系譜—平和執行部隊とは何か」『調研室報』101 1993.2 杉山茂雄「国連の平和維持機能の現状と将来」1992.6
47		[国連平和維持活動関係資料]		Benjamin Rivlin 「Regional Arrangements and The UN system for Collective Security and Conflict Resolution a New Road Ahead ?」 他
48		新聞記事 (A UN Volunteer Military Force)		
49		国際連合憲章		活字 (コピー)
50		国連問題研究会資料 各会ヒアリング参考資料	1993年5月-11月	「国連の平和維持機能と日本の対応」研究会 活字・ペン
51		国連研究会資料 国連PKOについての評論		杉山茂雄「国際安全保障の動向と防衛力の役割」1990.6 他 活字 3綴

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
52		ガリ提案 (As Agenda for Peace)	1992年	インマーマン講演「国連における日本とアメリカの役割の変化」 U.N. 1992 53頁 An Agenda for Peace 平和への課題 国際連合広報センター 1992.7.31 41頁 活字 3部
53		国連事務総長年次報告 第46回総会から第47回総会へ	1992/12/01	国際連合広報センター 活字 65頁 コピー共 1冊
54		政策提言「国連の平和機能の強化と日本の役割」	1992/10/01	活字 45頁 1冊
55		国際連盟規約 不戦条約		活字(コピー) 2綴
56	封筒	国会における村山首相の自衛隊合憲についての答弁	1995年3月2日消印	官報 号外(参議院会議録 第2号) 平成6年7月21日 衆議院会議録 第2号 平成6年7月20日 予算委員会議録 第3号 平成7年1月27日 日本社会党綱領・日本社会党新宣言(案)・日本における社会主義への道(抄)・95年宣言(草案) 新たな連立政権樹立にあたって・新たな連立政権の樹立に関する確認事項(案) 日本社会党 1994.6
57	ファイル	CIVIL - MILITARY RELATIONS IN THE UNITED STATES	1984/01/27	Kenneth D. Balick for Yoshihiko Seki



## スクラップブック等

資料番号		形態	タイトル	年月	備忘・概要
58		クリアフォルダ	日本のPKO法案審議経過・政府解釈		<p>国連平和協力法案 1990.10提出 1990.11廃棄            国際連合平和協力法案要綱 1990.10提出 1990.11廃棄            国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律 平成4年6月15日成立            矢嶋定則「PKO協力法案をめぐる国会論議」『立法と調査』168 1992.3            矢嶋定則「PKO協力法案の成立」『立法と調査』172 1992.10            PKO協力法案審議の折の国会質疑・閣議決定 平成3-4年(衆議院会議録、特別委員会議録、新聞記事、山内敏弘「PKO協力法の憲法上の問題点」『ジュリスト』1011 1992.11 他) 1袋</p>

## スクラップブック等

資料番号		形態	タイトル	年月	備忘・概要
59		ファイル	国連平和協力法案		<p>           柘山堯司「国連憲章体制とその限界性—国連安全保障制度研究の序論として—」『青山国際政経論集』5            広瀬義男「自衛隊と国際協力のあり方」『平和研究』10 1985.11            大沼保明「自衛隊とは別個に国連の平和維持活動に協力するPKO部隊を創設せよ」か『月刊Asahi』1990.11            筒井若水「集団安全保障—国連軍とは何か」『法学教室』76 1987.1            神谷龍男「国際連合における兵力の使用方法」『政経論叢』国学院大学 4巻1号 1955.10            第98国会衆議院予算委員会会議録 第12号 昭和58年2月22日            論壇 『朝日新聞』 1990.9～10 他         </p>

## スクラップブック等

資料番号	形態	タイトル	年月	備忘・概要
60	クリアフォルダ	国連PKO活動に関する書類		<p>国際連合と国際連合平和維持活動に人員及び装備を提供する国際連合加盟国との間のモデル協定案(仮訳)</p> <p>国際連合と受入国との間のモデル地位協定案(仮訳)</p> <p>国連カンボジア暫定機構(UNCTAD)の実施計画(上)</p> <p>(下)『世界政治一論評と資料』859,860 1992.4,5</p> <p>国連カンボジア暫定統治機構にかんする国連事務総長の第二次経過報告『世界政治一論評と資料』874 1992.12</p> <p>United Nations peace-keeping operations:past and present 安保理事会決議 (カンボジア・ソマリア・モザンビーク・ユーゴ) 新聞記事(『読売』『東京』1991.11.15)</p>
61	印刷物	関嘉彦述「新しい社会主義について」	1960年2月発行	中外調査会
62	印刷物	関嘉彦他「戦後日本の社会主義思想」	1963/06/30	関嘉彦他執筆、(社)民主主義協会編集

## Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト

(※先頭の番号は資料番号)

### 目次

1	スクラップブック(1959～1963年).....	1
2	スクラップブック(1963～1965年).....	9
3	スクラップブック(1966～1970年).....	13
4	スクラップブック(1970～1975年).....	16
5	スクラップブック(1975～1983年).....	20
6	スクラップブック(1983年6月～1985年3月).....	26
7	スクラップブック(1985～1989年).....	31
8	スクラップブック(1989年1月～6月).....	35
9	スクラップブック(1989年7月～1990年12月).....	37
10	スクラップブック(1991年1月～1993年5月).....	41
11	スクラップブック(1993年6月～1995年11月).....	46
12	スクラップブック(1995年11月～1998年12月).....	49
13	スクラップブック(1999年1月～).....	52
35	スクラップブック(1973年～).....	55
36	スクラップブック(1978年～).....	57
39	スクラップブック(1949～1960年2月).....	58
40	スクラップブック(1960～1965年).....	62
41	スクラップブック(1966～1974年).....	65

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
1 スクラップブック 寄稿論文切抜 1959年—1963年						
蠟山政道、猪木正道、関嘉彦、音田正巳、内海洋一、嘉地隆一	民主社会主義とは何か(1)					
蠟山政道、猪木正道、関嘉彦、音田正巳、内海洋一、嘉地隆一	民主社会主義とは何か(2)					
関嘉彦	クツに足を合わせるな ＜新しい社会主義の重点＞	労文時報	1960	2	25	
関嘉彦	人間が真の自己になること 人格主義の哲学 ＝「学生に与う」＝河合栄治郎書著＝	特信E【本だな】	1963	6	7	下の記事の草稿
関嘉彦	この本の周辺「学生に与う」河合栄治郎著	信濃毎日新聞	1963	6	13	
ウイリー・アイヒラー、関嘉彦、稲葉秀三	方向転換した西独社民党㊤ 綱領起草者アイヒラー氏に聞く	産経新聞	1961	5	5	
ウイリー・アイヒラー、関嘉彦、稲葉秀三	方向転換した西独社民党㊤ 綱領起草者アイヒラー氏に聞く	産経新聞	1961	5	5	
関嘉彦	体育(あすへの話題)	日経新聞	1961	9	23	
関嘉彦	”革新的”保守主義(あすへの話題)	日経新聞	1961	9	30	
関嘉彦	土地問題(あすへの話題)	日経新聞	1963	9	9	
関嘉彦	レジャーの利用(あすへの話題)	日経新聞	1963	9	17	
関嘉彦	産学協同(あすへの話題)	日経新聞	1963	8	19	
関嘉彦	戦没者追悼式(あすへの話題)	日経新聞	1963	8	26	
関嘉彦	何かが狂っている(あすへの話題)	日経新聞	1963	9	2	
関嘉彦	核実験停止協定(あすへの話題)	日経新聞	1963	7	29	
関嘉彦	単数と複数(あすへの話題)	日経新聞	1963	8	5	
関嘉彦	動員(あすへの話題)	日経新聞	1963	8	12	
関嘉彦	中ソ論争(あすへの話題)	日経新聞	1963	7	8	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	革命記念日(あすへの話題)	日経新聞	1963	7	15	
関嘉彦	ストレイチイのこと(あすへの話題)	日経新聞	1963	7	22	
関嘉彦	政府と大学(あすへの話題)	日経新聞	1963	6	17	
関嘉彦	泥酔者保護所(あすへの話題)	日経新聞	1963	6	24	
関嘉彦	パチンコ屋と教会(あすへの話題)	日経新聞	1963	7	1	
関嘉彦	社会保障制度(あすへの話題)	日経新聞	1963	5	27	
関嘉彦	戦犯(あすへの話題)	日経新聞	1963	6	10	
関嘉彦	社会党と憲法(あすへの話題)	日経新聞	1963	6	3	
関嘉彦	エグモント公園(あすへの話題)	日経新聞	1963	5	6	
関嘉彦	作文教育の必要性(あすへの話題)	日経新聞	1963	5	13	
関嘉彦	ドイツ社会民主党(あすへの話題)	日経新聞	1963	5	20	
関嘉彦	被害者意識(あすへの話題)	日経新聞	1963	4	15	
関嘉彦	社会主義と共産主義(あすへの話題)	日経新聞	1963	4	22	
関嘉彦	地方選挙(あすへの話題)	日経新聞	1963	4	29	
関嘉彦	ささやかな教師の願い(あすへの話題)	日経新聞	1963	4	1	
関嘉彦	修正主義(あすへの話題)	日経新聞	1963	4	9	
関嘉彦	革新陣営と中ソ論争 和田・太田両氏の見解を批判する／中共に遠慮し過ぎ 非常識な核武装の是認／「平和」の内容が不明瞭	東京新聞	1963	2	15	
関嘉彦	ロベール・フォセール著 河野健二・服部晴彦訳 『資本主義の将来』 公式的でない柔軟な分析	東洋経済	1962	9	29	
関嘉彦	転機に立つ社会党	東京新聞	1962	11	30	
関嘉彦	河合門下の仲間(交遊抄)	日本経済新聞	1962	4	20	
関嘉彦	民主社会主義の歴史	読売新聞・夕刊	1962	3	15	
関嘉彦	一部指導者に牛耳られるな	東京新聞	1962	2	9	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	J・パルザン著 本多顕彰訳 「知性の運命」 危機に直面する「知性」アメリカの現象をえぐる	読売新聞・夕刊	1962	3	15	
関嘉彦	福田恒存著『現代の悪魔』 思想偶像化への挑戦 読みごたえあるラッセル批判					
関嘉彦	私と大学(学芸)	毎日新聞	1962	8	25	
関嘉彦	新明正道監修『新版 社会思想史辞典』 妥当な項目、客観的解説 大項目主義のもつ欠点を補なう	読書人	1962	1	15	
関嘉彦	大会の権威高めよ —政党の大会シーズン迎えて—	北海タイムス	1962	1	17	
御手洗辰雄・関嘉彦・山内藤介	(政局座談会)池田内閣の命運は？ 不安定の”安定”続く 黒星ながら…後継者なし 戦前なら政変もの 経済誤算／”陰の人”吉田 御大のにらみ	フクニチ新聞	1962	1	1	
関嘉彦	共産党と変わらぬ 浅沼発言よりさらに反米 (私はこうみる)	東京新聞	1962	1	14	
関嘉彦	(話題の本)フィッツギボン著 埴英夫訳『キッスが 終わったとき』 悲劇をもたらす民主主義の錯誤 ロンドン版の”黒い霧”(話題の本)	産経新聞・夕刊	1961	12	21	
関嘉彦		日本経済新聞	1961	11	6	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	マルクス主義の新しい波<上> 理論の”自由競争”へ／独占者を主張できぬ	朝日新聞	1961	10	30	
関嘉彦	マルクス主義の新しい波<下> ”構造改革”の立場／待たれる「個人の自覚」	朝日新聞	1961	10	31	
関嘉彦	外遊三題①ブラッセルの思い出	道鉦連	1961	6	26	
関嘉彦	外遊三題②イギリスの思い出	道鉦連	1961	7	26	
関嘉彦	外遊三題③イスラエルの思い出	道鉦連	1961	8	26	
関嘉彦	民主社会主義の基本問題 関教授講演要旨	民社新聞	1961	6	30	
関嘉彦	中立および中立主義の諸問題 連続講座講演 要旨 軍備肯定NATO支持 西欧社会党の外交政策	北国新聞	1961	8	24	
	東京都立大学教授 関嘉彦氏 良識の代表者を自認 主義と政策は別の中立	中国新聞	1961	7	28	
関嘉彦	政防法と社会党の態度 ＝右翼テロも左翼テロも取締れ＝	全労新聞	1961	6	2	
関嘉彦	民社党綱領問題をめぐって 憲法九条は”自衛禁止”ではない	全労新聞	1961	6	9	
関嘉彦	(読書) ガルブレース著 鈴木哲太郎訳『自由の季節』 自己満足への戒め アメリカの良識示す好著	読書新聞	1961	5	25	



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	綱領論争に望む 内容の議論にエネルギーの集中を	民社新聞	1961	4	21	
関嘉彦	ウオイチンスキー著 直井武夫訳『歴史を生きる』1・2 革命渦中の自伝	日本経済新聞	1961	5	1	
(S)	変化する社会体制(本と時流) 東西両陣営を比較 カルヴィン・フーヴァー『経済、自由、国家』 F・シュテルンベルク『マルクスと現代』	東京新聞	1960	3	21	
(S)	不安な日本の民主主義(本と時流) 教訓含むドイツの過去 ウィリアム・シャイラー『第三帝国の興亡』 ウイーラー・ベネット『国防軍とヒトラー』	東京新聞	1960	5	2	
関嘉彦	個人の幸福と多数の幸福	時事教育	1961	2	1	
関嘉彦	中立とは何か(上) スウェーデンとオーストリアの教訓		1961	3	3	
関嘉彦	中立とは何か(下) スウェーデンとオーストリアの教訓		1961	3	4	
関嘉彦	民主社会主義を理解するために 「現代教養文庫」の関係書を中心に	週刊読書人(361号)				
関嘉彦	党再建のために 理想の情熱と地道な活動を	民社新聞	1960	11	23	
関嘉彦	民主社会主義は育つ 民社党は惨敗したけれど	神戸新聞	1960	11	27	
関嘉彦	民社党のこんご(月曜評論) 敗北は民主社会主義の不毛を意味しない	西日本新聞	1960	11	28	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
細川隆元・関嘉彦・唐島基智三	新政局今後の動向を探る(上) 難しい中道政治、割り切り型の日本人 池田政権、安定増す 民社へ、微妙な社党の 出方	東京新聞	1960	11	22	
細川隆元・関嘉彦・唐島基智三	新政局今後の動向を探る(下) 超党派外交へ踏みきれ 国会運営、民社も交渉団体に	東京新聞	1960	11	23	
阿部真之助・池田潔・関嘉彦	民主政治の危機を救うために(上) 重大な社党の立場／治安確立へ 与野党協力を ／言論の力で抑制図れ／激しい政争の影響 大、学校教育再検討のとき	東京新聞	1960	10	14	
関嘉彦	納得できぬ”連呼”復活 公職選挙法改正について	福井新聞	1960	10	8	
関嘉彦	F・シュテルンベルク著『マルクスと現代』 現代世界の動向を分析する 非ドクマ的、純正マルクス主義の立場から	週刊読書人	1960	10	10	
Seki, Yoshihiko	Parliamentary Democracy in Japan Its Present Situation and Its Future Prospects	The Japan Times	1960	9	28	
関嘉彦	「三池あっせん収拾」に思う 闘争主義に問題 敗北を冷静に反省せよ	神戸新聞	1960	9	9	
関嘉彦	西欧民社政党を訪問して 現地通信第2信	民社新聞	1960	7	29	
関嘉彦	西欧民社政党を訪問して 現地通信	民社新聞	1960	7	22	
関嘉彦	猪木正道著『民主的社会主義』 教訓的かつ論争的	日本経済新聞	1960	6	6	
関嘉彦	墓穴を掘った岸政府 独裁への道をたどる	大分合同新聞	1960	5	20	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	やり切れぬ警官導入 ＝議会政治の墓穴を掘った岸政府＝	南日本新聞	1960	5	20	
関嘉彦	修正案提出が妥当 採決拒否 政府の出方次第	日本経済新聞	1960	5	13	
NAGOYA, Kazuhiko	Japanese Magazine Highlights The Endo of Ideology	Mainichi Daily News	1960	5	10	
関嘉彦	転換期の労働運動 多数の者を長くたます事はできぬ	読売新聞・夕刊	1960	4	5	
関嘉彦	林健太郎著『移りゆくものの影』 現代思想史の一断面 半生の体験もとに描く	読売新聞・夕刊	1960	3	3	
関嘉彦	(浅沼稻次郎社会党新委員長誕生に関するアンケート)		1960	3	26	
関嘉彦	革命的日和見主義(石筆)	東京新聞	1960	3	7	
関嘉彦	就職試験(石筆)	東京新聞	1960	3	14	
関嘉彦	分裂の季節(石筆)	東京新聞	1960	3	21	
関嘉彦	CANTとKANT(石筆)	東京新聞	1960	3	28	
	民社党、政党綱領の起草者 関嘉彦 将来の理想強調 階層化で保守と競争	岐阜日日新聞	1960	2	16	
	光と闇とを見よ 長年の念願を盛る民社党綱領	世界連邦新聞	1960	3	1	
関嘉彦	社会主義と中産階級(月曜論壇) ＝育成はなぜ必要か＝	南日本新聞	1960	2	1	
関嘉彦	レイモン・アロン著、渡辺善一郎訳 『現代の知識人』マルクス主義批判の書	産経新聞	1960	2	22	
関嘉彦	平和共存(石筆)	東京新聞	1960	2	15	
関嘉彦	現状分析(石筆)	東京新聞	1960	2	22	
関嘉彦	競輪(石筆)	東京新聞	1960	2	29	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	政党綱領の起草者(上)関嘉彦氏＝民主社会党＝ 将来の理想を強調 全国民中産階級化、自民党に負けぬ	山陽新聞	1960	2	8	
	上記ゲラ					
	関嘉彦という人 筋金入りの反共 浅い日本の現状認識	図書新聞	1960	1	30	
蠟山政道、猪木正道、関嘉彦、音田正巳、内海洋一、嘉地隆一	民主社会主義とは何か(4)	神戸新聞	1960	1	26	
蠟山政道、猪木正道、関嘉彦、音田正巳、内海洋一、嘉地隆一	民主社会主義とは何か(3)	神戸新聞	1960	1	25	
関嘉彦	毎日十分間ずつ(石筆)	東京新聞	1960	1	25	
関嘉彦	資本主義対社会主義(石筆)	東京新聞	1960	2	1	
関嘉彦	社宅生活(石筆)	東京新聞	1960	2	8	
関嘉彦	民社新党の目指す道 綱領案の基本的な考え方 階級理論はとらぬ 国民に広く門戸開く	日経連タイムス	1960	1	21	
	民社新党の暫定綱領案をまとめた関嘉彦	朝日新聞	1960	1	22	
	民社新党綱領のまとめ役 関嘉彦氏	神戸新聞	1960	1	22	
関嘉彦	国民の期待裏切る承っただけの岸首相	東京新聞	1960	1	21	
	新しい社会主義の重点は何か ”現実に即した新方法を” 人格発展の理念に 新旧はない	朝日新聞	1960	1	13	
	民社新党の暫定綱領案をまとめた関嘉彦	朝日新聞	1960	1	20	
	民主社会主義研究会議 新しい社会主義の重点は何かから 各人が考えること それが”民社主義”	毎日新聞				

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
大宅壮一・田中寿美子・関嘉彦	政治座談会 "日本の浮動票"中産階級「曲がり角政局」のキーポイント	夕刊フクニチ	1960	1	1	
関嘉彦	政治の十四年周期説(石筆)(石筆)	東京新聞	1960	1	4	
関嘉彦	一則多(石筆)	東京新聞	1960	1	11	
関嘉彦	実力行使(石筆)	東京新聞	1960	1	18	
関嘉彦	苦悩果てぬ英労働党 党大会を終わって何を改良すべきか 解答迫る"繁栄社会"	東京新聞	1959	12	1	
関嘉彦	"国際議員"ノエルベーカー ノーベル平和賞決定に当って	読売新聞	1959	11	7	
中村哲・関嘉彦・長谷部忠	社会党の分裂と二大政党(上) 根は思想の対立 しかし話合いは今後も	朝日新聞	1959	10	19	
中村哲・関嘉彦・長谷部忠	社会党の分裂と二大政党(下) 革新に不利な共食い 新党は"議会主義"を守れ	朝日新聞	1959	10	21	
関嘉彦	社会党と再建同志会に望む 真の平和主義を貫け	産経新聞	1959	10	21	
関嘉彦	英の総選挙と労働党の将来 「方向」で当分混迷 万能薬でなかった国有化	東京新聞	1959	10	11	
関嘉彦	世界の社会主義運動に影響 イギリス総選挙の意義	読売新聞	1959	9	29	
<b>2 スクラップブック 寄稿論文切抜 1963年—1965年</b>						
関嘉彦	国民的利益をまもれ 現実政党こそ社党の進路	東京新聞	1963	11	29	
関嘉彦	民主社会主義問答—その、ものの見方、考え方	全織新聞	1961	11	5	
関嘉彦	社会主義の歴史	自由と社会主義	1971	5	1	
	人 民社新党の暫定綱領案をまとめた関嘉彦	朝日新聞	1960	1	22	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	民社新党綱領案の各論	朝日新聞	1960	1	16	
関嘉彦	武士道的ヒューマン主義の自伝 森戸辰男『思想の遍歴』(上)	言論人	1972	9	15	
	話題の人 民社新党綱領のまとめ役 関嘉彦氏	神戸新聞	1960	1	22	
関嘉彦	無用の用	週刊民社	1971	7	9	
	関嘉彦／良識の代表者を自認 主義と政策は別の中立	中国新聞?	1961	7	28	
	この人 関嘉彦氏／光と闇を見よ 長年の念願を盛る民社党綱領					
	関嘉彦という人 筋金入りの反共／浅い日本の現状認識	図書新聞	1960	1	30	
春日一幸／天池清次／関嘉彦	民社党の進むべき道(上)新しい革新政党をつくろう	週刊民社	1972	2	18	
春日一幸／天池清次／関嘉彦	民社党の進むべき道(下)党組織の強化を急ごう	週刊民社	1972	2	25	
クロスランド／関嘉彦	英労働党の政策と理念	東京新聞	1963	6	11	
関嘉彦	民社党に 政策の特色を訴えよ／精神的目標明示の絶好機	東京新聞	1963	10	31	
関嘉彦	国民的利益をまもれ 現実政党こそ社党の進路	東京新聞	1963	11	29	
御手洗辰雄／関嘉彦／宮村文夫	総選挙座談会 「三百」と「三分の一」の戦い	フクニチ新聞	1963	11	15	
関嘉彦	名著鑑賞 J.S.ミル『自由論』 少数意見も尊重せよ 言論、団結の自由を強調	読売新聞	1963	12	8	
関嘉彦	政治 「改憲」政局の焦点に 政治的解決、国民の要望	全労新聞	1964	1	1	
関嘉彦	戦後日本の社会主義(上)	民社新聞	1964	3	20	
関嘉彦	戦後日本の社会主義(下)	民社新聞	1964	3	27	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	世界人と平和問答 レイモン・アロンから関嘉彦教授へ 一つの世界協同体は東西とも改宗不可能	読売新聞	1964	4	25	
関嘉彦	日本の新しい左翼(上)	朝日新聞	1964	5	19	
関嘉彦	日本の新しい左翼(下)	朝日新聞	1964	5	20	
関嘉彦	創価学会の政治進出	民社新聞	1964	5	15	
関嘉彦	池田改造内閣に望む(中)党清浄化急げ、識見・勇気ある政治を	愛媛新聞	1964	7	22	
関嘉彦	党の圧力を排除 派閥政治からの脱皮を	京都新聞	1964	7	20	
関嘉彦	論壇時評(上)虚構を解体する現実 林の「戦後史をどう観るか」	読売新聞	1964	8	24	
関嘉彦	論壇時評(下)国際紛争の解決策は？ 蠟山、田畑による現実的提案	読売新聞	1964	8	25	
関嘉彦	論壇時評(上)国際労働運動の百年 その歴史と今後を説くもの	読売新聞	1964	9	21	
関嘉彦	論壇時評(下)知的エリートの意義、権力の巨大化防ぐ役割りを説く富永論文 興味深いベトナム危機特集	読売新聞	1964	9	22	
関嘉彦	論壇時評(上)ケナン論文の波紋 日本の安全をめぐる諸説	読売新聞	1964	10	20	
関嘉彦	論壇時評(下)近代化と外来文化 武者小路「世界化時代と日本人」 国際的観点からの探求	読売新聞	1964	10	21	
関嘉彦	緊張緩和の推進を〈英労働党の勝利〉社会主義運動に激励	新潟新報	1964	10	17	
関嘉彦	緊張緩和推進に期待 英労働党の勝利	南日本新聞	1964	10	18	
田畑茂二郎／大平善梧 ／山本登／関嘉彦	世界平和推進会議の収穫	読売新聞	1964	11	15	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	論壇時評(上)平和至上主義に挑戦 再読の価値ある福田論文	読売新聞	1964	11	23	
関嘉彦	論壇時評(下)中華民国核実験と日本 安全対策で分かれる諸説	読売新聞	1964	11	24	
大島康正	関嘉彦・丸尾直美『福祉国家のビジョン』 望ましい日本の将来／茶の間の話題のため平明に解く		1964	11	26	
関嘉彦	論壇時評(上)日本の進路を求めて 盛んなナショナリズム論	読売新聞	1964	12	18	
関嘉彦	論壇時評(下)防衛と外交の問題 今後の課題としてとらえる	読売新聞	1964	11	19	
関嘉彦	成人～もとめるよりつくすことを	サンケイ新聞	1965	1	1	
関嘉彦	論壇時評(上)近ごろの若い者論 なぜ政治的無関心へ傾くか	読売新聞	1965	1	18	
関嘉彦	論壇時評(下)政治・道徳と知識人 二元的対立説く福田論文	読売新聞	1965	1	19	
関嘉彦	施政方針演説を聞いて 政治哲学欠く対中国策	愛媛新聞	1965	1	27	
関嘉彦	論壇時評(上)社会開発の進展へ 重要指針与える富永論文	読売新聞	1965	2	22	
関嘉彦	論壇時評(下)理想主義と現実主義 外交問題めぐる諸論文	読売新聞	1965	2	23	
関嘉彦	高坂正堯『海洋国家日本の構想』『世界史を創る人びと』	日本経済新聞	1965	4	12	
関嘉彦	偉大な常識家の警告(笠信太郎『日本の姿勢』)	読売新聞	1965	4	29	
関嘉彦	愛情をこめて(ライシャワー『日本近代の新しい見方』)	読売新聞	1965	11	11	



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	日本は何をなすべきか(2)地道な平和努力を冷厳な国際関係の現実	読売新聞	1965	9	12	
関嘉彦	松下圭一『戦後民主主義の展望』更三改革論による現状分析	東洋経済新報	1965	6	12	
関嘉彦	チャーチルの先見の明	朝雲	1969	9	11	
	民主社会主義の物のみかた考え方 関嘉彦都立大教授にきく	全織新聞	1969	10	6	
田中美知太郎	論壇時評(下)奇妙な思考の矛盾 中立主義者つく関論文	読売新聞	1963	2	23	
都留重人	論壇時評(下)事件の裏にある社会、考えさせる中野・伊東の論文／中印紛争、米誌の強い説得力	朝日新聞	1963	2	23	
関嘉彦	英国労働党の試練－英国滞在から帰って－	文化フォーラムニュース	1966	12	10	
関嘉彦	中ソ論争と日本の知識人	社会思想研究	1964	5		
関嘉彦	PTAの副産物	瀬田小PTA	1964	2	20	
関嘉彦	反対意見にも耳を傾けよう 会長就任に当たって	瀬田小PTA	1961	7	20	
関嘉彦	近頃感じたこと	労働と教育	1963	10	1	
関嘉彦	福祉国家の理念に光明(ミュルダール・北川監訳『福祉国家を越えて』)	エコノミスト	1963	5	21	
<b>3 スクラップブック 寄稿論文切抜 1966年－1970年</b>						
関嘉彦	民社党の評判(イギリス短信)	民社新聞	1966	3	13	
関嘉彦	痛烈な野次の応酬 演説会 —さすが紳士の国…ユーモアで笑わせる— (選挙運動あれこれ<上>)	民社新聞	1966	4	17	
関嘉彦	のんびりした運動 —金の工面はしない候補者— (選挙運動あれこれ<下>)	民社新聞	1966	4	24	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	英国総選挙を見る—ロンドンで—	朝日新聞(夕刊)	1966	4	9	
関嘉彦	揺らぐ議長の権威 —山口氏の辞任に思う—	中日新聞	1966	12	3	
関嘉彦	“多党化”の意味(潮流)	産経新聞(夕刊)	1967	2	2	
関嘉彦	課題は安保、選挙制(潮流)	産経新聞(夕刊)	1967	2	3	
関嘉彦	指導性ある政治家を望む(潮流)	産経新聞	1967	3	2	
関嘉彦	体制内政党とは何か(潮流)	産経新聞	1967	3	18	
関嘉彦	中ソ論争の激化を予測 —世界的権威の研究論文集—(読書) (ドラーシ・コヴィッチ編 猪木正道監修 木村汎評『現代のマルクス主義』)	産経新聞				
関嘉彦	勇気をもってムダをなくせ(潮流)	産経新聞				
関嘉彦	都政の科学的運営を(潮流)	産経新聞	1967	4	18	
関嘉彦	国民に根をおろした体質に(潮流)	産経新聞	1967	5	10	
関嘉彦	安易な資金源を断て(潮流)	産経新聞				
関嘉彦	危機に立つ民社党(潮流)	産経新聞	1967	6	14	
関嘉彦	高柳賢三氏の死 念願は日本の平和憲法を世界へ	高知新聞	1967	6	13	
関嘉彦	危険な「空洞化」理論(潮流)	産経新聞	1967	7	14	
関嘉彦	新しい国家論の確立を(潮流)	産経新聞	1967	7	15	
関嘉彦	破滅への道(潮流)	産経新聞	1967	8	16	
関嘉彦	政治の不信と思想の混乱(潮流)	産経新聞	1967	8	17	
関嘉彦	マルクス主義の興亡(潮流)	産経新聞	1967	9	18	
関嘉彦	日本社会主義の退廃(潮流)	産経新聞	1967	9	19	
関嘉彦	親日派の鋭い提言 (H・バッシン編 国弘正雄ほか訳 『日本とアメリカ』)	読売新聞(夕刊)	1967	10	12	
関嘉彦	教師自身も自戒を(潮流)	産経新聞	1967	10	11	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	同情はむしろ危険(潮流)	産経新聞	1967	10	12	
関嘉彦	その栄光の陰に…(潮流)	産経新聞(夕刊)	1967	11	10	
関嘉彦	なにを学ぶべきか(潮流)	産経新聞(夕刊)	1967	11	11	
	(産経12/8夕刊関論文への賛意表明)	葉書	1967	12	9	
兼田龍郎	(産経12/8夕刊関論文への賛意表明)	便箋	1967	12	8	
立田定吉	(産経12/8夕刊関論文への賛意表明)	便箋				
関嘉彦	許せない秩序破壊(潮流)	産経新聞	1967	12	8	
関嘉彦	正しい権力観持て(潮流)	産経新聞				
関嘉彦	価値判断の自由説く (ミュルダール著 山田雄三・佐藤隆三訳 『経済学説と政治的要素』の書評)	日本経済新聞	1968	1	8	
関嘉彦	強い性格の人たれ(潮流)	産経新聞	1968	1	17	
関嘉彦	識別する目を持て(潮流)	産経新聞	1968	1	19	
関嘉彦	民主社会主義とは? (民主社会主義学習月間テキスト)	全織新聞	1968	11	4	
関嘉彦	「一九七〇年の選択」	産経新聞(夕刊)	1969	1	16	
関嘉彦	理想の支配、強化を —安保選択の「思想的背景」—	読売新聞(夕刊)	1969	1	16	
関嘉彦	断じて許せぬ行為 —公明党の言論抑圧を糾弾する— (民社論壇)	民社新聞	1970	1	30	
関嘉彦	現代社会における自由と狂信 —民主社会主義研究会議の討議から—	産経新聞(夕刊)	1970	1	17	
関嘉彦	オックスフォードの寮生活 —私は赤面して副学監の室を辞した…—	PHP	1969	3		
関嘉彦	イギリスの労働組合	労働と教育	1967	3	1	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	大学問題の思想的背景 (緊急特集 嵐の中の東京大学)	自由	1969	11		
<b>4 スクラップブック 寄稿論文切抜 1970年—1975年</b>						
関嘉彦	行動力持て民社党 —関民社研議長に聞く—	読売新聞	1970	4	19	
関嘉彦	社会思想と労働運動㊤(夏期大学から)	信濃毎日新聞	1970	9	2	
関嘉彦	社会思想と労働運動㊦(夏期大学から)	信濃毎日新聞	1970	9	3	
関嘉彦	民主社会主義研究10年	読売新聞(夕刊)	1970	9	7	
関嘉彦	高度工業社会への挑戦 —第12回民主社会主義研究会議全国研究集会—	産経新聞(夕刊)	1971	1	14	
関嘉彦	空港建設は話合いで(直言)	産経新聞	1971	3	2	
関嘉彦	歴史は繰返すか(直言)	産経新聞	1971	[3]	[9]	
関嘉彦	「民主ファシズム」論の危険性(直言)	産経新聞	1971	3	16	
関嘉彦	司法と教育(直言)	産経新聞	1971	3	23	
関嘉彦	名称表示と国民性(直言)	産経新聞(夕刊)	1971	3	30	
関嘉彦	「革新」的保守(直言)	産経新聞	1971	4	6	
関嘉彦	甘ったれ心情(直言)	産経新聞	1971	4	13	
関嘉彦	単数と複数(直言)	産経新聞	1971	4	20	
関嘉彦	権理と権利(直言)	産経新聞	1971	4	27	
関嘉彦	政治家の道義的責任(直言)	産経新聞	1971	5	4	
関嘉彦	この親にして…(直言)	産経新聞	1971	5	11	
関嘉彦	外交論議に疑問(直言)	産経新聞	1971	5	18	
関嘉彦	建設的批判(直言)	産経新聞	1971	5	25	
関嘉彦	誤った印象を与える方針か (朝日ジャーナル編集方針批判)	月曜評論	1971	5	24	
関嘉彦	偉ぶるイギリス人 —日本人へのある一つの指標—		1971	5	5	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	激動する世界の中の日本 —民社研第13回全国研究会議から—	産経新聞(夕刊)	1972	1	17	
関嘉彦	社会主義の再検討	産経新聞	1972	5	5	
関嘉彦	教育者らしい教育者 (教育を考える)	サンケイリビング	1972	4	22	
関嘉彦	親が手本示そう(教育を考える)	サンケイリビング	1972	5	27	
関嘉彦	美的感覚と環境(教育を考える)	サンケイリビング	1972	7	1	
関嘉彦	相手の立場(教育を考える)	サンケイリビング	1972	8	5	
関嘉彦	やせがまん(教育を考える)	サンケイリビング	1972	9	9	
関嘉彦	女性遍歴描いた本格的伝記文学 —江上照彦著『ある革命家の華麗な生涯 フェ ルディナント・ラッサール』の書評—	北海道新聞	1972	10	14	
関嘉彦	ミルの自由論(座右の書)	日本経済新聞	1972	9	10	
関嘉彦	マルクス主義の史的理解 神なきカルビン主義	日教連教育新聞	1972	9	20	
関嘉彦	うるわしい日本社会への改造 —民社研第14回全国研究集会から—	産経新聞	1973	1	19	
関嘉彦	議論自体が無意味	産経新聞	1973	2	11	
関嘉彦	工業主義への反省 —ウィリアム・モリス著 生地竹郎訳 『ジョン・ポールの夢』の書評—	東京新聞	1973	6	28	
関嘉彦	農民暴動の指揮者と対話 —ウィリアム・モリス著 生地竹郎訳 『ジョン・ポールの夢』の書評—	北海道新聞	1973	6	24	
関嘉彦	社会思想史を学ぶ意義	税務大学校	1973	7	1	
関嘉彦	戦犯処刑者の名誉回復	アジ調月報	1973	8		
関嘉彦	仕事と余暇 —「働き過ぎ…」を考える—	生産性ニュース	1973	4	25	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	民主主義の擁護が柱 —資本主義対社会主義の中で—(主張)	日本生産性新聞	1973	8	1	
	建前と本音の一致 —大言壮語の労働運動は危険—(主張)	日本生産性新聞	1973	9	12	
	美しい福祉国家を —許されぬ誤まった選択—(主張)	日本生産性新聞	1973	10	17	
	誤った「権利主義」 —民主主義の危機深まる—(主張)	日本生産性新聞	1973	11	14	
	国際政治外交に筋を —必要な政治、経済、文化の再検討— (主張)	日本生産性新聞	1973	12	5	
	合理的見方を養なう —神話からの解放が必要—(主張)	日本生産性新聞	1974	1	16	
	東南アへの協力は —”仕事”の真の意味を自覚—(主張)	日本生産性新聞	1974	2	6	
	統制は全て否定か —国民共通の場で検討を—(主張)	日本生産性新聞	1974	3	16	
関嘉彦	岐路に立つ日本の民主主義 —民社研第十五回全国会議より—	産経新聞	1974	1	27	
関嘉彦	共産党と修正主義(随想)	週刊民社	1974	2	1	
	政治ストの帰結考えよ —民主主義の崩壊につながる—(主張)	日本生産性新聞	1974	4	3	
関嘉彦	刑法改正に偏見ない批判を(正論)	産経新聞	1974	6	10	
関嘉彦	民社 民主主義に徹する	産経新聞	1974	6	15	
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	共産圏へ強い不信 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞	1974	6	26	
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	統制はマイナス (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞	1974	6	27	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	根源に人間の尊厳 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞	1974	6	28	
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	”人民”は投票機械 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	一つの意味に縛る (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	ストもできぬ社会 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	新聞、すべて機関紙 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	徹底した情報統制 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦、辻村明、勝田吉太郎、木村尚三郎	避けられない独裁 (討論自由:第二部 二つの世界の論理)	産経新聞				
関嘉彦	フリーダムとリバティ —氾濫する「自由」を考える—	同盟新聞	1974	7	2	
関嘉彦	韓国の政情を憂う(正論)	産経新聞	1974	8	6	
関嘉彦	フォード訪日反対論を批判(正論)	産経新聞	1974	11	14	
関嘉彦	「田中辞任」は氷山の一角(正論)	産経新聞	1974	12	9	
関嘉彦	昭和50年代の危機と民主社会主義者の任務	全化同盟	1975	1	1	
関嘉彦	ストと大学	時局研究会会報	1975	1	1	
関嘉彦	戦後民主主義の再検討と日本の進路 —民社研第16回全国研究会議から—	産経新聞(夕刊)	1975	1	2	
関嘉彦	政治家の決断力 —猪木正道著『七つの決断』の書評—	産経新聞	1975	1	27	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	スト処分 政治批判は誤り(正論)	産経新聞	1975	4	8	
<b>5 スクラップブック 寄稿論文切抜 1975年—1983年</b>						
Yoshihiko Seki	Telephone Calls	P.H.P.	1975	8		
関嘉彦	都知事選を終えて 地道な努力積み重ねで民主社会主義の前進	民社新聞	1975	4	25	
西義之／関嘉彦／高橋正雄	「ぼくら応援団」の弁	毎日新聞	1975	3	25	
塚本三郎／関嘉彦	言論の自由とは何か	週刊民社	1974	9	13	
関嘉彦	国家観の再検討必要—暴力事件防ぐ道／「権力は悪」の見方に誤り	サンケイ新聞	1975	6	17	
関嘉彦	奇妙な「池田・宮本会談」—異質な自由混同／共存は疑問、宗教と科学的社会主義	サンケイ新聞	1975	7	19	
関嘉彦	ポルノ論争と表現の自由—排せよ営利主義／危険多い無制限の自由	サンケイ新聞	1975	8	26	
関嘉彦	外国で考えたこと	時局研究会々報	1976	1	1	
	一元的な視野は危険／関氏、内外情勢調査会で講演／マルクスを切る	十勝毎日新聞	1975	9	13	
関嘉彦	一方通行の文化交流—欧米以外にも目を／基金協力、長期的視野で	サンケイ新聞	1975	10	25	
関嘉彦	環境づくりに美的意識を一真の文化の原点／問われる個々人の姿勢	サンケイ新聞	1975	11	20	
関嘉彦	産業民主主義の定着を	サンケイ新聞	1975	12	24	
関嘉彦	転機の民主主義と労組の任務	同盟	1976	1	2	
関嘉彦	1976年の展望 転換期の労組の役割	全金同盟	1976	1	5	
関嘉彦	いぜん不可解な日共—古い概念捨てよ／「階級国家観」は通用せぬ	サンケイ新聞	1976	1	29	
関嘉彦	国際情勢と民主主義—第17回民社研全国研究会議から	サンケイ新聞	1976	1	19	



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	ロレンツ・ストウッキ著『余暇社会の再検討』『怠惰哲学』のすすめ	サンケイ新聞	1976	2	2	
関嘉彦	政策なき社党運動方針案—政権への道程欠く／いまこそ奮起を期待	サンケイ新聞	1976	2	27	
関嘉彦	口事件公表、首相の責任で—「47条」運用慎重に／検察を政争にまき込むな	サンケイ新聞	1976	4	26	
関嘉彦	内政干渉招く成田発言—米の返書は妥当／審議拒否の理由にならぬ	サンケイ新聞	1976	3	24	
関嘉彦	代議制民主政治に危機感—矛盾はらむ言動／自社候補の派閥 選挙前、国民に明示を	サンケイ新聞	1976	6	3	
関嘉彦	日共の変容と修正主義—茶番劇の繰り返し／教義解釈、都合よい指導者の主張	サンケイ新聞	1976	6	30	
関嘉彦	共産党の自由宣言、知的誠実さに欠ける／あくまで無謬を主張／戦術的な厚化粧、不徹底な変容ぶり	週刊民社	1976	8	20	
関嘉彦	矛盾する日共の自由論—標語でごまかす／市民的・政治的自由、個人の自由と違う	サンケイ新聞	1976	7	27	
関嘉彦	ハンチントン他著『民主主義の統治能力』—その成功が危機を招く	サンケイ新聞	1976	12	13	
関嘉彦	私の研究 西欧社会思想の再解釈	サンケイ新聞	1976	9	6	
関嘉彦	文化交流「言語の壁」破る努力を一創意工夫で克服／カタカナローマ字、発音に近い表記に	サンケイ新聞	1976	8	30	
関嘉彦	役人と議員のゆ着排せ—国会答弁禁止も／口事件教訓に、議会制の改革を	サンケイ新聞	1976	10	5	
関嘉彦	民主政治の存亡を焦点に—多党制こそ進む道／総選挙、派閥明示し、信問え	サンケイ新聞	1976	11	13	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	才能は孤独静寂の裡に育ち、性格は塵世波瀾の裡に熟す	民社党青年隊機関紙	1977	1	1	
関嘉彦	混迷する日本と民主主義 第18民社研全国研究会議から	サンケイ新聞	1977	1	17	
関嘉彦	電話の乱用も感覚的暴力一余りに自己中心／宣伝、選挙からワビまで	サンケイ新聞	1977	1	22	
関嘉彦	政治家の範、故クロスランド氏一強い自律の精神／日本にとって大きな損失	サンケイ新聞	1977	2	28	
関嘉彦	百里基地判決と新聞社説一社の主体性示せ／説得性ない「司法の見解」要求	サンケイ新聞	1977	3	31	
関嘉彦	世界の日本研究者と交流を一先生招く方法も／少年に日本文化広める	サンケイ新聞	1977	5	31	
関嘉彦	社会党分裂の勧め一異常な左右同居／対立は無限で実りなし	サンケイ新聞	1977	7	27	
関嘉彦	階級闘争の呪術克服を「革新」混迷の元凶／現代日本では有効性ない	サンケイ新聞	1977	9	16	
関嘉彦	社会主義インター東京首脳会議に望む一福祉建設を学べ／教訓とよりよい刺激剤に	サンケイ新聞	1977	12	7	
関嘉彦	「より少なく悪」認めるべき一韓国理解に甘さ／社会主義インターを見て	サンケイ新聞	1977	12	24	
関嘉彦	「甘え」の心理克服を一民社研全国研究集会から	サンケイ新聞	1978	1	17	
関嘉彦	樺太残留の韓国人、母国帰還の実現急げ一日本に道徳的義務／外交ルートで対ソ交渉を	サンケイ新聞	1978	3	8	
関嘉彦	「三十年一日」の飛鳥田社党一変化に目とぞす／訪中訪朝で教条主義露呈	サンケイ新聞	1978	5	23	
関嘉彦	森嶋教授の安全保障論に答える一最小限の自衛力は必要	北海道新聞	1979	1	29	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
森嶋通夫	なにをなすべきでないか—安全保障論で考える	不明〔北海道新聞か?〕	1979	1	1	
関嘉彦	再び安全保障論で問う(上):戦争回避がすべて／軍備は日本経済に重荷	北海道新聞	1979	3	9	
関嘉彦	再び安全保障論で問う(下):米国との協力が軸／当面、核武装の必要ない	北海道新聞	1979	3	10	
関嘉彦	何を歴史の教訓として学ぶべきか／安全保障論議で森嶋教授に答える	東京新聞	1979	2	1	
関嘉彦	「有事」の対応策は当然—歴史の教訓に学べ／無知な平和主義者の平和論	サンケイ新聞	1978	9	15	
関嘉彦	形骸化する総評に苦言—組合員とも遊離／古いイデオロギー打ち破れ	サンケイ新聞	1978	7	21	
関嘉彦	河合栄治郎の現代的意義	サンケイ新聞	1978	10	20	
関嘉彦	信用できぬ日共の「複数主義」—党内民主主義は認めず	サンケイ新聞	1978	12	15	
関嘉彦	中越紛争どう受け止める—社会主義と共産主義は違う	サンケイ新聞	1979	2	23	
関嘉彦	革新政党は「革新」たり得るか—総選挙には具体的政策示せ	サンケイ新聞	1979	9	5	
関嘉彦	ひと:早大客員教授関嘉彦／なぜ防衛論争が必要か／平和時こそ冷静な頭で判断	朝日新聞	1979	10	15	
		Neue Zuercher Zeitung	1977	4	29	
関嘉彦／奥原唯弘／林秀彦	サンケイ・日共言論裁判「自由」擁護は新聞の使命／反論権は検閲招く／変わらぬ共産の独善体質／東京高裁の結審を機に考える	サンケイ新聞	1979	11	18	
関嘉彦	米大使館占領事件 日本のとるべき道一利に惑わず国際正義貫け	サンケイ新聞	1979	11	23	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	正念場迎えた日本の外交―主体性もって米国と連帯を	サンケイ新聞	1980	1	24	
	多元的思考でモノを見よ 関嘉彦・早大客員教授が講演／サンケイ懇話会	サンケイ新聞	1980	1	19	
関嘉彦	モスクワ五輪 侵略者を勇気づけるな／世界の法秩序守る不参加	サンケイ新聞	1980	3	24	
関嘉彦	「日本の安全」を選ぶ総選挙―非武装中立は自殺行為	サンケイ新聞	1980	6	9	
関嘉彦	民社党結党前夜(13)学者・文化人も活発な動き／社会党脱党第一号	週刊民社	1980	4	11	
関嘉彦	民社党結党前夜(14)共同行動を願ったのに／河上派との訣別	週刊民社	1980	4	18	
関嘉彦	民社党結党前夜(15)あふれる思いを一気に／新党綱領草案	週刊民社	1980	5	2	
関嘉彦	民社党結党前夜(16)蠟山政道氏を議長に発足／「民社研」のこと	週刊民社	1980	5	9	
関嘉彦	あいまいな憲法九条の解釈―国会議決で多数意見確認を	サンケイ新聞	1980	10	9	
関嘉彦	教科書検定問題	文化会議	1982	10		
関嘉彦	自衛官募集業務への視点―軍備は平和の障害でない	サンケイ新聞	1981	4	16	
関嘉彦	非核三原則を改める時が来た―日米安保条約の機能強化を	サンケイ新聞	1981	6	11	
関嘉彦	新聞は歴史の教訓から学べ―島国的思考からの脱却を	サンケイ新聞	1981	10	15	
関嘉彦	改造内閣の閣僚に要望する―内外情勢に的確な判断を	サンケイ新聞	1981	11	30	
	都議選応援団私と東京(6)関嘉彦氏 望みたい都財政の健全化	朝日新聞	1981	5	17	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	読書:勝田吉太郎『民主主義の幻想』内部からの腐食分析	サンケイ新聞	1980	8	11	
関嘉彦	検定制度を再吟味せよー教科書問題を省みて	フクニチ新聞	1982	9	16	
関嘉彦	労働組合の教育活動	同盟新聞	1980	10	31	
	関・森嶋論争の問題点ー当事者・関嘉彦氏が語る	週刊民社	1979	11	30	
関嘉彦	労働組合運動と防衛力整備ー自由守る決意示した総同盟	サンケイ新聞	1982	2	19	
関嘉彦	人権と自由を保障する平和をー平和運動の謀略を警戒せよ	サンケイ新聞	1982	4	21	
関嘉彦	口事件にみた民主主義の危機ー政治家は道義的責任をとれ	サンケイ新聞	1982	6	10	
メンデル、ウォルフ	(ロンドン大)教授 なぜ安全保障の研究か／外交まで含めた防衛論議を	サンケイ新聞	1979	11	19	
	盛大に正論講演会	サンケイ新聞	1982	9	9	
関嘉彦	サッチャー首相訪日の教訓	フクニチ新聞	1982	9	29	
関嘉彦	恥の道徳	フクニチ新聞	1982	10	13	
関嘉彦	権理と権利	フクニチ新聞	1982	9	3	
関嘉彦	八月十五日に想う	フクニチ新聞	1982	8	13	
関嘉彦	一即多 福岡県人は、いちそくたの精神を	フクニチ新聞	1982	8	7	
関嘉彦	国際政治を見る眼鏡	フクニチ新聞	1982	7	24	
関嘉彦	次の課題は議会制度の改革ー国会制度調査会で検討を	サンケイ新聞	1982	9	20	
関嘉彦	経済摩擦は思い切って解消をー優柔不断は国際孤立を招く	サンケイ新聞	1982	12	17	
関嘉彦	少年よ、生活の型学び自由をー非行の原因は型なし教育	サンケイ新聞	1983	4	27	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	自由民主政治の道徳哲学守れー物質的価値のみ求める風潮	サンケイ新聞	1983	2	24	
関嘉彦	政党不信と議会政治の危機ー国民の鏡でしかない政治家	サンケイ新聞	1983	5	26	
	インタビュー 日本の安全に対するしっかりした考え方をー国際問題と日本の防衛について語る関氏	創造のひろば	1980	2		
関嘉彦	共産主義と社会主義は違うー西欧諸国では常識、日本は混同、自由の認識甘い	サンケイ新聞	1974	4	20	
関嘉彦	「修正主義」拒む非科学性ー進歩の芽つむ／むしろプラス・シンボルに	サンケイ新聞	1974	5	16	
関嘉彦	道義感の持ち主を国会へー政治不信解くー歩／英議員のエリート意識に学ぶ	サンケイ新聞	1974	7	6	
関嘉彦	「権利」は「権理」が適訳ー必要な道徳哲学／民主主義、「恥の思想」の上に	サンケイ新聞	1974	9	3	
関嘉彦	「ソシアル」ー日本語訳に思うー深い協力の意味／「社会の」だけでは誤解生む	サンケイ新聞	1974	10	5	
関嘉彦	複数民主主義の自覚をー望めぬ満場一致／異論あるのが正常な状態	サンケイ新聞	1975	1	17	
関嘉彦	指導者は国民におもねるなー苦言大いに結構／「衆愚政治」への墮落救う	サンケイ新聞	1975	2	8	
関嘉彦	国家権力は自由の敵かー時代遅れの考え／むしろ経済力や社会力に	サンケイ新聞	1975	3	5	
関嘉彦	英の君主制に学ぼうー威厳と行政調和／難局では国民統一の基盤	サンケイ新聞	1975	5	5	
<b>6 スクラップブック 関義彦 I 寄稿論文切抜 1983年6月ー1985年3月</b>						
	参院比例代表1位 民社は関教授に		1983	4	7	
	ソ連脅威論が信念(カオが行く)	政界日日新聞	1983	5	10	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	様変わり参院選 比例代表区 —優雅な学者候補の戦い—	産経新聞	1983	6	1	
関嘉彦	知識人はなぜ過ちを犯したのか —マルクス・レーニン主義をめぐる混迷をつく—	This is 読売	1990	9		
関嘉彦	社会民主主義と国際民主主義	中央公論	1950	10		
関嘉彦	瀧川事件・河合栄治郎・私					
	初日いかが看板候補 比例代表選	読売新聞	1983	6	4	
	教壇出て街頭第一声 —各党看板の学者四候補 帰れば読書や講演—	朝日新聞	1983	6	4	
	党の看板「お願い」いらず	産経新聞	1983	6	4	
	読書 祈願 畑づくり…(マイペース)	東京新聞	1983	6	6	
	走り出した比例選 目玉候補各党の思惑	読売新聞	1983	6	7	
	行革とともに国会改革を…(ひと)	週刊民社	1983	6	10	
	参院選民社党候補一覧	毎日新聞	1983	6	11	
	勝利の実感 いまひとつ？ “気になる”あとに続く人たち”	読売新聞(夕刊)	1983	6	27	
	学者政治家ひと言インタビュー	毎日新聞	1983	6	28	
	衆院チェックの機能回復を (初当選の三氏座談会)	東京新聞	1983	6	28	
	参院の学者議員ら10人 超党派で懇談会 —長期課題を自由に討議—	朝日新聞	1983	7	24	
	党外議員らが懇談会	読売新聞	1983	7	29	
	参院運営 党派超え論議 —学者議員の懇談会、初会合で一致—	朝日新聞	1983	7	29	
	外国との交流に意欲	世界日報	1983	8	26	
	国会改革の勧め(風見鶏)	日本経済新聞	1983	9	19	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	参院、議論が足りないよ —ノンプロ結集、カンカンガクガク—	毎日新聞(夕刊)	1983	9	28	
関嘉彦	議会政治を面白くしたい	世界と議会	1983	9		
	中曽根さん いつまで長考?	東京新聞	1983	10	22	
	「ハタノさん、ウェーバーが墓場の陰で 泣いてます」(記者の眼)	週刊民社				
関嘉彦	日本の現代史の再検討	文化会議	1983	10		
	党の顔・学者センセイ引っぱりダコ	産経新聞	1983	12	12	
	結党25年目の”反乱” ただ今党名変更論争	東京タイムズ	1984	1	30	
	「社」の文字に悩む民社党 (政界スポット)	産経新聞	1984	1	30	
	”はしか”かも知れないが(記者席)	毎日新聞	1984	2	29	
関嘉彦	教育改革の理念	世界と議会	1985	1		
	防衛費1%枠当内閣は守る —首相、改めて表明—	日本経済新聞	1985	3	29	
	防衛費のGNP1%枠 永久不変でない —参院予算委首相答弁—	信濃毎日新聞	1985	3	29	
	講義調、格調高く初質問(傍聴席)	信濃毎日新聞	1985	3	29	
	焦点再録 予算委員会 28日・参院	朝日新聞	1984	3	29	
	文民統制を強める —参院予算委 国防会議活用で首相—	朝日新聞	1984	3	29	
	自由・平和を愛好する心教えよ	週刊民社	1984	4	6	
関嘉彦	朝日新聞は自らの立場を明確にせよ —四月二日付の社説に反論する—	週刊民社	1984	4	13	
	記者の眼	週刊民社	1984	4	20	
	最長不倒距離を強調(ロビー)	産経新聞	1984	4	11	



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	ほとんど民社の主張 —「倫理綱領」素案修正し了承—	週刊民社	1984	4	27	
	関嘉彦著『社会主義の歴史1』の紹介	朝日ジャーナル	1984	6	8	
	関嘉彦著『社会主義の歴史1』—フランス 革命から十九世紀末へ (読んでおきたい本)	ビュース	1984	6		
	東西対話の促進図れ —途上国援助の具体策示せ—	週刊民社	1984	6	29	
	参院の改革に静かな意欲 (学者議員四氏座談会)	読売新聞	1984	6	25	
	比例選挙議員 一年の”決算” (学者議員四氏座談会)	読売新聞	1984	6	25	
	涼風熱風 いま一年生議員は (関嘉彦と伏見康治の対談)	朝日新聞	1984	8	19	
	教育哲学を再検討 真の愛国心は人類愛	日本教育新聞	1984	8	20	
	教育改革への注文 アンケート					
石原萌記	自由主義者・関嘉彦先生	自由	1984	9		
	政治を全国民的立場に立って	民中連	1984	7	25	
	片仮名の軽視	文化会議	1984	10		
	富士見で考えたこと(随筆)	世界と議会		9		
	”3K”にびっくり	朝日新聞	1984	11	2	
	日本の政治家ならば3K肝要！！(記者の目)	中日新聞	1984	11	2	
	関氏、佐々木氏を批判 —民社「二階堂擁立」は不可解—	西日本新聞	1984	11	2	
	”灰色高官”をなぜ —民社党の関議員 佐々木委員長を批判—	河北新報	1984	11	2	
	「二階堂政権構想」で民社の関氏委員長らを批判	北日本新聞	1984	11	2	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	委員長の動き国民に説明を —民社・関議員が批判—	産経新聞(大阪)	1984	11	2	
	国民の世論で行革を(談話室)	熊本日日新聞(夕刊)	1984	10	30	
	政権構想めぐり委員長批判 —民社党議員—	山形新聞	1984	11	2	
	民社も委員長批判 —二階堂政権構想で関氏—	神奈川新聞	1984	11	2	
	顧問の関氏が批判 —佐々木委員長らの関与—	岐阜日日新聞	1984	11	2	
	なぜ灰色高官を… —関氏 佐々木委員長を批判—	神戸新聞	1984	11	2	
	民社の関氏が委員長を批判	静岡新聞	1984	11	2	
	委員長らの動きを批判—民社の関氏—	徳島新聞	1984	11	2	
	関”教授”「日本では”3K”だそうですよ」(記者の 眼)	週刊民社	1984	11	16	
	教育基本法の見直し	時局研究会会報	1985	1	1	
	二十一世紀に向けての教育理念		1985	1	5	
平川祐弘	外交官よ、もっと話せ (日本外交に注文する)	世界の動き	1985	1		
	民社党 あす誕生25周年	毎日新聞	1985	1	23	
	野党足並みに乱れ —民社が「SDI」柔軟方針—	読売新聞	1985	1	29	
	「三たび平和について」声明の後遺症 —戦後知識人の国際政治観について—	諸君!	1985	3		
	外国語表記は原音に近く —儀礼であり、国際理解にも貢献— (論壇)	朝日新聞	1985	2	8	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	わが党は産業の国有化に反対する —ポルトガル社会党国際局長 ルイ・マティアス 氏に聞く—	がくしん	1985	3		
一般人の投書	外国語表記のあり方	朝日新聞	1985	2	18	
村田聖明	原音に近い表記は困難 —外国語に当たる仮名なく効用薄い—	朝日新聞	1985	2	19	
	対談 関嘉彦参院議員V.S.西田八郎機関紙局 長(シリーズ 民主社会主義)	週刊民社	1985	3	29	
	「趣意書、私が書いた」 —短大学長 立派な財団と信じ—	毎日新聞	1985	2	23	
	内紛も自民のお株奪った”春日民社丸”の 行く末(政界同時ドキュメント)	サンデー毎日	1985	5	19	
<b>7 スクラップブック 関義彦Ⅱ(寄稿論文切抜) 1985年—1989年</b>						
	論議呼ぶ吉田巻頭言問題 民社研の方針変更? —「反共主義は敵」に批判—	世界日報	1985	3	8	
	修猷館—二百年の青春—(政治家)	読売新聞(福岡県内 版)	1985	4	18	
	民主社会主義 理論を学ぶ —化繊・九州ブロック政治研修会—	全旭連	1985	6	1	
	恥の道德の復活	文化会議	1985	8		
	文化摩擦に連がるかも? —関議員 訪米の印象を語る—	週刊民社	1985	10	11	
	決算審査で事後評価の制度化を	会計検査情報	1986	3	27	
	ある自由主義者の軌跡 —河合栄治郎の思想とたたかい—	週刊東京大学新聞	1985	9	3	
	人物教育は不十分 —文相、社会科見直しで示唆—	日本教育新聞	1985	12	9	
	リマ大会に出席して	週刊民社	1986	7	25	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	我慢ならぬ比例代表廃止論	東京新聞	1986	1	10	
	無題	日本経済新聞	1986	1	10	
	関嘉彦著『永田町一年生』 —私の国会報告—(今月の推薦書)	自由	1986	3		
和田春生	卓越した政治教本として好個の著作 (関嘉彦著『永田町一年生』の書評)	文化会議	1986			
	「国際国家日本」の課題 (関嘉彦と漆山成美の対談)	改革者	1986	4・5		
	民社党行動綱領(草案)について —理想と現実のひらきをどう乗り越えるか— (関嘉彦・武藤光朗・小松雅雄の対談)	改革者	1986	9		
	サミットでの難題浮き彫り —「首相訪米」緊急質問—	読売新聞	1986	4	24	
	党外候補いません！(9面レポート)	読売新聞	1986	3	26	
	円相場の安定を —首相の米国での約束を追及—	週刊民社	1986	5	2	
	権利と権理	文化会議	1986	5		
	国会は討議の原点に戻れ —永田町一年生の改革提言—	This is	1986	4		
	生かされない「学識」 —なげく”比例代表一期生”—	読売新聞	1986	6	1	
	Opposition Knocks Nakasone Summit Proposals	Japan Times	1986	5	3	
	地方議員解職制度に疑問 —乱用されると少数意見排除の危険— (論壇)	朝日新聞	1986	6	10	
	党外文化人候補は激減(点検比例区選挙)	朝日新聞	1986	6	16	
	INVARIABLE SEGUIRA LA COOPERACION JAPONESA	EL DIARIO	1986	6	18	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	無題	PATRIA	1986	6	18	
	マル優廃止の根拠は？ —関議員、矛盾を鋭く追及—	週刊民社	1986	9	5	
	日米の協力が必要 —塚本委員長米大使と懇談 為替相場安定のため—	週刊民社	1986	9	5	
	政府に転業奨励金申請！？	週刊民社	1987	1	1	
	もつれた表記”ほどける？！	産経新聞	1987	1	15	
	発言 ナショナリズムを基盤とした”国際主義” が肝腎	革新	1986	10		
	早くも熱い議論	東京新聞	1987	1	15	
	政治の理念と現実—私の国会報告—	文化会議	1987	7		
	参院はどうあるべきか(マイ オピニオン)	週刊民社	1987	4	17	
	以心伝心	時局研究会会報	1987	1	1	
	”国会をディベートの場に”	週刊民社	1987	3	29	
	関嘉彦『社会主義の歴史』の宣伝広告	朝日新聞	1987	5	12	
	関参院議員、オーストリア社会党機関紙編集長 と対談	週刊民社	1987	4	17	
	年内にも米ソ首脳会議 —社会主義インター 関氏らが明るい見通し—	産経新聞	1987	6	10	
	挨拶	国技館“特別区制度 の改革をめざす1万人 の集い”	1986	11	5	
	社会主義インター軍縮委の訪米、訪ソ団に参加 して	週刊民社	1987	6	19	
	民主党は社会主義インターの抑え役たれ	革新	1987	9		
	土屋清さんを偲ぶ(特別寄稿)	文化会議	1987	5		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	土地評価同一に —関議員 自衛隊員の住改善も迫る—	週刊民社	1987	7	3	
	“「不正輸出」許すまじ” —外為法改正案、参院本会議で審議—	週刊民社	1987	9	11	
	社会主義の側から見た世界史 (関嘉彦著『社会主義の歴史』1・2の書評)	文化会議	1987	8		
田久保忠衛	日本人はエコノミック・アニマルか —東芝機械の不正輸出事件—	社会労働評論	1987	9		
	外山茂著『日本人の勤勉・貯蓄観』の書評 (改革者の図書室)	改革者	1987	10		
	自由と民主主義釈放されたら書く	朝日新聞(夕刊)	1987	10	12	
	関嘉彦の写真	週刊民社	1988	1	1	
	政治家、評論家はこう見る	東京新聞(夕刊)	1987	11	6	
	極東ソ連軍 量、質ともに増強 政府表明	週刊民社	1988	4	8	
	参議院予算委で集中審議 三治、関、小西各議員が質問	週刊民社	1988	4	15	
	東芝機械の外為法違反と日本の安全保障について(防衛論壇)	国会ニュース	1988	1		
	防衛論議は堂々に行え 有事来援について (論壇)	週刊民社	1988	4	29	
	関議員「教育理念の新たなる確立」を主張	週刊民社	1988	5	27	
	内外総スカンでついに更迭！奥野前長官の ビックリ政治オンチ	週刊朝日	1988	5	27	
	今上天皇と私	改革者	1988	2		
	ソ連は変わるか —ソ連共産党協議会の感想—(論壇)	週刊民社	1988	7	15	
	教育とデモクラシー	文化会議	1988	8		
	船乗りの常識に反する —衆参両院潜水艦事故で連合審査—	週刊民社	1988	8	12	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	「勉強会ならよい…」 —天皇ご病氣 英紙告訴論も—(政局舞台裏)	日刊工業	1988	10	1	
	「使い方を規制せよ」 —政治資金 注目集める塩川見解— (政局舞台裏)	日刊工業	1988	8	13	
	日ソ円卓会議に出席して(論壇)	週刊民社	1988	11	11	
	英語教科書の差し替え問題(論壇)	週刊民社	1988	11	25	
	社・共排除は議会否定の道	朝日新聞	1988	11	30	
	「塚本問題」民社も激論 —中執委で不満の声、一応は結束—	読売新聞	1988	12	14	
	自分に不利の道選べ	週刊民社	1989	1	6	
	昭和と私	週刊民社	1989	1	20	
	民社党人事「最後の最後は関暫定で…」 (政界)	政界往来	1989	2		
	選挙やりづらいため —塚本氏辞任「私は潔白」強調—	日本経済新聞	1989	2	8	
<b>8 スクラップブック 関義彦Ⅲ(寄稿論文切抜) 1989年1月—6月</b>						
関嘉彦	自由とデモクラシーの道徳的基礎	改革者	1989	2		
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか<上> (日本漂流)	東京新聞	1989	4	4	
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか<中> (日本漂流)	東京新聞(夕刊)	1989	4	5	
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか<下> (日本漂流)	東京新聞	1989	4	6	
松崎哲久	私の注文	東京新聞	1989	4	9	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	「政治改革」で学習会	週刊民社	1989	5	5	
関嘉彦	日米関係の危機(論壇)	週刊民社	1989	6	9	
関嘉彦	「純情多感な人」	革新	1989	7		
関嘉彦	日ソ友好のため越えねばならぬハードル	自由	1989	2		
関嘉彦	誤解に基づく批判に答える —福祉国家論の擁護—	週刊民社	1989	1	1	
関嘉彦	政治倫理を確立せよ	週刊民社	1989	4	7	
関嘉彦	ソ連改革のディレンマ —日ソ円卓会議とエストニアの人民戦線—	改革者	1989	1		
関嘉彦、山本七平、曾野綾子	座談会 昭和を振り返る㊤	産経新聞	1989	1	10	
関嘉彦、山本七平、曾野綾子	座談会 昭和を振り返る㊦	産経新聞	1989	1	11	
関嘉彦	「戦後政治思想」への追悼文	新潮45	1989	2		
関嘉彦	昭和と私	週刊民社	1989	1	20	
	民社党人事「最後の最後は関暫定で…」 (政界)	政界往来	1989	2		
塩田潮	特集「リクルート」の腐臭 民社党の「存在価値」	諸君	1989	4		
Seki, Yoshihiko	XVIII CONGRESS OF THE SOCIALIST INTERNATIONAL(スピーチ)		1989	6		
関嘉彦	海外青年協力隊員のこと	文化会議	1989	6		
関嘉彦	日米関係の危機(論壇)	週刊民社	1989	6	9	
	デクラヤル事務総長と会見 多大の国連支持に感謝	国連議連ニュース	1989	3		
	政界メモ(3)	時事通信社(ファックス)	1989	6	27	



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦、林健太郎、伏見康治	日本の政治のあり方を考える —危機に瀕す日本の議会政治—	新樹	1989	7	1	
春日一幸、佐々木良作	塚本委員長の責任問題 2人の”ドン”が対決 (特報)	産経新聞	1988	12	21	
<b>9 スクラップブック 新聞雑誌寄稿切抜 1989年7月—1990年12月</b>						
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか(上)	東京新聞夕刊	1989	4	4	
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか(中)	東京新聞夕刊	1989	4	5	
関嘉彦	日本の議会政治はこのままでよいか(下)	東京新聞夕刊	1989	4	6	
関嘉彦	政治倫理を確立せよ	週刊民社	1989	4	7	
内田満	有終の美	東京新聞	1989	11	29	
	特別インタビュー関嘉彦氏:かつてない世界の 転換期、内外情勢が日本の浮沈に直結「まず 物の考え方の国際化から」	新樹	1989	8	1	
	学者議員たちの六年間:政党に幻滅、捨てられ た	AERA 31号	1989	7	25	
関嘉彦	東ドイツ国民の足による投票	週刊民社	1989	9	29	
関嘉彦	世界史の大転換期	青春無悔 7号				
関嘉彦	定着した福祉国家	正論	1989	9		
加藤寛	破綻した計画経済	正論	1989	9		
林健太郎	社民にも明日はない	正論	1989	9		
関嘉彦	社会主義インター100年の戦いと勝利／証明さ れた民主社会主義の正しさ	週刊民社	1989	8	11	
関嘉彦	「社会主義」への誤解を正すためには東京での インター開催も一案	Kakushin	1989	9		
関嘉彦	社会主義インターの新宣言—ストックホルム大 会に出席して	改革者	1989	8		
関嘉彦	私の国会報告—学者として、議員として					

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	お気に入りの「砧公園」	Kakushin	1989	8		
安江良介／武村正義／ 谷田部修／二見伸明／ 関嘉彦／上田耕一郎／ 菅直人／田川誠一	国民の政治不信に答える	世界	1989	7		
関嘉彦	立党の精神に還れ	改革者	1989	10		
関嘉彦	日本の情報は国際的に孤立／西欧調査旅行での所見から	産経新聞	1989	8	18	
関嘉彦	単数と複数	公民館	1989	10		
関嘉彦	政党への公費補助制度(上)ヨーロッパの現状と問題点	改革者	1989	10		
関嘉彦	政党への公費補助制度(下)ヨーロッパの現状と問題点	改革者	1989	11		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(1)素人議員の誕生	改革者	1990	1		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(2)国会改革(上)討議導入の企て	改革者	1990	2		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(3)国会改革(下)国対政治と審議放棄	改革者	1990	3		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(4)ロッキード事件からリクルート事件まで	改革者	1990	4		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(5)党務への係わり(上)党の路線を繞って	改革者	1990	5-6		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(6)党務への係わり(下)人事問題と政治改革	改革者	1990	7		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(7)外交問題(上)対米外交と対ソ外交	改革者	1990	8		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(8)外交問題(下)国際化と開発協力	改革者	1990	9		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(9)防衛問題	改革者	1990	10		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(10)行政上の改革	改革者	1990	11-12		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(11)教育改革	改革者	1991	1		
関嘉彦	永田町生活六年間の回顧(12)人権問題と法務行政	改革者	1991	2		
関嘉彦	憲法公布第44回記念集会(憲法擁護新国民会議)講演原稿		1989	11	2	
関嘉彦	新聞はプライバシーを守れーのぞき見的な資産公開報道	産経新聞	1989	11	22	
関嘉彦	民社党は突出せよー立党の精神変わらず声を大にして叫び続けよ	週刊民社	1990	1	1	
関嘉彦	現代における民主社会主義ー第三部会報告(第31回全国研究会議)	改革者	1990	5-6		
関嘉彦／小松雅雄／勝田吉太郎／重枝琢巳／米沢隆	現代における民主社会主義ー第三部会討議(第31回全国研究会議)	改革者	1990	5-6		
関嘉彦	現代における民主社会主義ー第三部会報告要旨(第31回全国研究会議)	改革者	1990	1		
関嘉彦	崩壊するマルクス・レーニン主義ーソ連・東欧駆け歩る記	Kakushin	1990	9		
	ODA大綱(1992年制定)に関する内容要約	メモ				
関嘉彦	恒久的勧告委員会の新設をー日米友好関係の強化に提案	産経新聞	1990	2	7	
SEKI, Yoshihiko	Detoxifying the Japan-U.S. Dialogue(上記『産経新聞』記事の英語翻訳)	From the Sankei Shimbun(タイプ原稿)	1990	2	7	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	大島康正さんを悼む	改革者	1990	2		
	インタビューどうなる社会主義:関嘉彦氏/物質万能が横行する今の日本にこそ必要	朝日新聞	1990	4	14	
関嘉彦	痛みに耐えて改革の先頭に—これが民社党を再建する道	産経新聞	1990	4	16	
	関嘉彦氏「党再建」を語る 敗北を天の配剤とせよ/あるべき路線確立へ徹底論議し、決まれば挙党一致で邁進を/議会政治路線が民社党の道	週刊民社	1990	3	9	
関嘉彦	「比例代表は政権不安定」に疑問—欧州に安定例も 弊害少ない西独式	朝日新聞?	1990	5	11	
	(天皇の戦争謝罪問題への関のコメントが引用されている)	東京新聞				
津村咲子	記事への感想。社会思想研究会メンバーか。(『朝日新聞』1990年5月25日付、関の顔写真つきコメント記事貼り付け添付)	葉書	1990	5	29	
関嘉彦	反米ナショナリズムを怖れる	Kakushin	1990	6		
関嘉彦	大筋ではやむを得ぬ改革案—選挙制度審二次答申に思う	産経新聞	1990	9	6	
	変革のうねりどうする政治(1)三流のつけ/道のり遠い国際化 政策よりもまず選挙、漫画も笑う低俗さ(北海道新聞・山本記者より)	北海道新聞	1990	8	11	
	変革のうねりどうする政治(2)政権交代/保守2党狙う自民 選挙改革巡り与野党に思惑	北海道新聞	1990	8	12	
	変革のうねりどうする政治(3)少か中か/揺れる選挙区論議 利害絡み関心、学界をも二分	北海道新聞	1990	8	13	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	変革のうねりどうする政治(4)金権・奄美は／金が舞う小選挙区 公共事業に絡む利権構造、根底に	北海道新聞	1990	8	14	
	変革のうねりどうする政治(5)国会再生／各党「公開」では一致 TV導入さえ思惑なお交錯	北海道新聞	1990	8	15	
	変革のうねりどうする政治(6)参院無用論／薄れた「良識の府」 何から何まで衆院のコピー	北海道新聞	1990	8	16	
	変革のうねりどうする政治(7)消えた運動／生活保守がまん延 小選挙区への抵抗も弱まる	北海道新聞	1990	8	16	
村上兵衛	時評 総合誌／いま、ペレストロイカは「国家」の確信持たぬ日本		1990	9	6	
関嘉彦	「解説」再校(古森義久『嵐に書く』講談社文庫)		1990	10	19	
関嘉彦	三位一体の害毒(特集 何が農村を崩壊させたのか)	経済往来	1990	9		
関嘉彦	国家観の不在が混乱の根源－平和協力法案の紛糾に思う	産経新聞	1990	11	7	
関嘉彦	弔辞 江上照彦氏を追悼する		1990	9	28	
関嘉彦	江上照彦君を偲ぶ	Kakushin	1990	11		
関嘉彦	(いまこそ揺ぎなき国家目標を打ち立てよ)	週刊民社	1991	1	4	
関嘉彦	今こそ協同の精神を	日経ビジネス	1990	12	31	
<b>10 スクラップブック 関義彦 1991年1月－1993年5月</b>						
関嘉彦	試案・民社党新綱領	Kakushin	1991	2		「原稿執筆は1990年11月」

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
民社党新生委員会	綱領草案	民社党新生委員会	1991	1		関メモ「1990.11月小生の提出した素案をもとに党政審が書きかえたもの1991.1月」別のメモ「※注 2月11日朝刊発表の予定です。大会に新生委員会報告として出し、一年間の党内討議に付すものです。」
関嘉彦	河合栄次郎・西尾末廣の生誕百周年を記念して(オピニオン・プラザ)	週刊民社	1991	1	18	
小栗勝也	血肉となった思想を	産経新聞	1991	3	10	
関嘉彦	湾岸戦争と国民的道義心	文化会議	1991	3		
関嘉彦	多国籍軍将兵に感謝しよう(正論)	産経新聞	1991	3	8	
	多国籍軍に感謝の声明	産経新聞	1991	3	6	
関嘉彦	難民救済に新たな協力	産経新聞	1991	3	18	
	「多国籍軍に感謝—」本紙の意見広告、米紙報道	産経新聞(夕刊)	1991	3	14	
	For Better or Worse, the Japanese Agree, 'America's No.1 !	Herald Tribune	1991	3	14	
	Japanese Fulfill Gulf Aid Pledge	Herald Tribune	1991	3	14	
	More Japanese See A 'Fearsome' U.S. After Gulf Victory	Wall Street Journal	1991	3	14	
	湾岸貢献 日米市民が直接論争／パソコン通信で文通作戦で／隔たり大きく感情論も	朝日新聞	1991			
	多国籍軍に感謝する声明(意見広告)	産経新聞	1991	3	6	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	代表挨拶文(多国籍軍に感謝する会)	多国籍軍に感謝する会	1991	4	3	
	振込金(兼手数料)受取書	(株)第一勧業銀行	1991	3	29	
	領収書(多国籍軍に感謝する会)	(株)産業経済新聞社	1991	3	28	
	「多国籍軍に感謝する声明」紹介記事集／3月6日付産経新聞東京本社版朝刊・3月7日付産経新聞大阪本社版朝刊掲載	多国籍軍に感謝する会事務局	1991	4		
関嘉彦	人間 河合栄次郎	改革者	1991	3		
関嘉彦	河合評論のための構想メモ(自筆原稿、民社党本部、または週刊民社の名前入り原稿用紙等合計12枚)					
関嘉彦	政治の現実を忘れた空論／「NYタイムズの意見広告」考(正論)	産経新聞	1991	4	18	
関嘉彦	朝日新聞の「湾岸」社説に設問する	正論	1991	7		
関嘉彦	レーニン主義の疑似宗教性／ソ連共産党の大いなる思考(正論)	産経新聞	1991	9	16	
関嘉彦	(講演録)湾岸戦争と日本人の道義心「何のために生きるのか」(文責＝福島新樹会・角田豊彦)		1991	7	27	(講演日付、記事掲載日は不明)
関嘉彦	湾岸戦争と日本人の道義心	福島新樹(第5号)	1991	9	15	(上と同様の内容)
関嘉彦	イギリス人と名前(随想)	This is 読売	1991	11		
関嘉彦	「自由民主主義の勝利」と安心できるか	Kakushin	1991	11		
	掃海部隊帰国 意見広告で労苦ねぎらう	産経新聞(夕刊)	1991	10	30	
	掃海部隊のみなさん お帰りなさいご苦労さま(意見広告)	産経新聞	1991	10	30	
関嘉彦	戦死者のことを想いて	ボルネオ睦会会報	1991	10		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	西尾末廣生誕百周年記念講演会／西尾精神で真の革新、真の平和めざせ 「西尾末廣と私」福田赳夫／「西尾末廣の今日的意義と展望」関嘉彦	週刊民社	1991	12	13	
関嘉彦	大改革は民社の理念で —世界の指導国家へ 政治体制の強化を—	週刊民社	1992	1	1	
関嘉彦	無題(年頭の所感)	新樹(209号)	1992	1	1	
関嘉彦	変革期に対処する政治家の使命		1992	1	3	
関嘉彦	来年を憲法論議の第一年に／国際的に不名誉だった今年	産経新聞	1991	12	28	
関嘉彦	国家観と人生観の論議を深めよ(今月の巻頭言)	正論	1992	1		
関嘉彦	リーダーシップの存在示す／賛成できる小沢調査会発言	産経新聞	1992	2	25	
関嘉彦	西尾末廣・戦いの生涯 —河合栄治郎と比べて—	革新	1992	1		
関嘉彦	国際協力と日本人の生き方	文化会議	1992	5		
関嘉彦	「日本の顔」の理想像とは／伝統的道德上の自由民主社会	産経新聞	1992	7	14	
関嘉彦	日本人が「顔」をもつために	革新	1992	8		
関嘉彦	漆山成美氏を追悼する —漆山さんを悼んで—	改革者	1992	11		
関嘉彦	無題(年頭の所感)	新樹	1993	1	1	
関嘉彦	憲法第九条をめぐる論争に決着をつけよ(今月の巻頭言)	正論	1993	1		
関嘉彦	国際貢献と憲法問題	革新	1992	12		
関嘉彦	自由民主主義の擁護と批判 『歴史の終わりと最後の人間』書評<その一>	改革者	1992	12		



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	自由民主主義の擁護と批判 『歴史の終わりと最後の人間』書評<その二>	改革者	1993	1		
関嘉彦	国家観、人生観の議論を	週刊民社	1993	1	8	
関嘉彦	国民レベルでの議論拡大を／現実に合致の憲法九条改正	産経新聞	1993	1	7	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(1)「高等学校まで」 (顧問登場115)	週刊民社	1993	1	22	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(2)「河合栄治郎先生」 (顧問登場116)	週刊民社	1993	1	29	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(3)「太平洋協会」 (顧問登場117)	週刊民社	1993	2	5	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(4)「戦争裁判弁護人」 (顧問登場118)	週刊民社	1993	2	12	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(5)「社思研結成」 (顧問登場119)	週刊民社	1993	2	19	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(6)「民社党結党」 (顧問登場120)	週刊民社	1993	2	26	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(7)「学園紛争」 (顧問登場121)	週刊民社	1993	3	5	
関嘉彦	天命に感謝して八十年(8)「参議院議員」 (顧問登場122)	週刊民社	1993	3	12	
関嘉彦	問われる扇動知識人の責任／自己批判なき連合赤軍事件	産経新聞	1993	3	16	
関嘉彦	国際貢献と憲法第九条の問題(講演録)	東京談話	1993	1	28	
関嘉彦	語る会「提言」を受けて憲法論議始まる 党内に「世界平和と憲法問題特別委員会」を設置／国際平和へ貢献 日本の意欲明らかに	週刊民社	1993	1	29	

II (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	洞察欠く「朝日」の憲法論／血を流す覚悟もなく不誠実	産経新聞	1993	5	8	
<b>11 スクラップブック 関嘉彦切抜 1993年6月－1995年11月</b>						
関嘉彦	日本語のあいまいさについて	世界と識会	1993	6		
関嘉彦	追悼 中田厚仁さん	日本文化会議	1993	6		
関嘉彦	「民社党に期待する」	週刊民社	1993	7	9	
関嘉彦	浮動票で結果左右	産経新聞	1993	6	27	
関嘉彦	精神と肉体の老化防止法	アルク	1993	8		
関嘉彦	政策論争助長の改革実現を／自民党下野が改革の第一歩	産経新聞	1993	7	23	
関嘉彦	民社党は”苦い良薬”たれ (「新しい政治」への出発 民社党に望む)	Kakushin	1993	8		
山田喜弘	”侵略戦争”を例示されたい	産経新聞	1993	8	23	
林田孝	東京裁判再審請求 今、改めて提案したい	産経新聞	1993	8	23	
関嘉彦	躊躇せず金銭的補償を (ゲラ? FAX 感熱紙のため薄れて見えず)	自由	1993	9		
関嘉彦	8月に念う	新樹	1993	8		
関嘉彦	戦争を総括する	正論	1993	11		
関嘉彦	国際貢献と憲法第9条の問題	花草会25周年記念誌	1993	1	30	
関嘉彦	憲法への視角(1)9条改正への思い「武力なしに平和は守れない」／老学者の戦い	産経新聞	1993	11	16	
	白亜の先輩たち(3)「安保」の論客 反骨貫く	読売新聞(夕刊)	1993	11	17	
関嘉彦	侵略戦争論批判の巻頭言を反論する	Kakushin	1993	12		
関嘉彦	小田村四郎氏の質問に答える	正論	1994	1		
	葬送 民主社会主義研究会議事務局長・佐藤寛行氏(19日 東京都新宿区・四谷たちばな会館)	産経新聞	1993	12	20	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	真の愛国心を自覚し育てよ	週刊民社	1994	1	7	
関嘉彦／ルイス・アヤラ	変革の時代 転換期迎えた社会主義インター ／今年5月、社会主義インター東京理事会開催	週刊民社	1994	1	28	
関嘉彦	国連常任理入りの意志鮮明に／PKF本体業務 の凍結解除を	産経新聞	1994	1	26	
関嘉彦	弔辞 佐藤寛行君を追悼する	改革者	1994	2		
民社党と語る会	民社党への提言 「世界平和と憲法問題」に関 する提言／国連の平和・安全保障機能強化に 関する日本の貢献についての提言	民社党と語る会	1994	2	1	
民社党と語る会	「世界平和と憲法問題」に関する提言	民社党と語る会	1992	12	17	
	(日本国憲法第9条第2項改正案文、関の自筆)	手書きメモ用紙1枚				
	「世界平和と憲法問題」提言について 平和戦 略研究会(関自筆のメモ)	手書き原稿用紙5枚	1993	2	26	
	「国際貢献と憲法第9条の問題」要旨	B4プリント2枚、B5プリ ント1枚				
	民社党と語る会 国連提言(1994/1/14)に関す る新聞報道(いずれも15日付朝刊、読売新聞、 産経新聞、毎日新聞、朝日新聞)	小島(民社党本部)よ り関宛、FAX感熱紙1 枚	1994	1	17	
	戦後史開封39 日本独立5／歓迎の日の小旗 に涙 文化人の「全面講和論」色あせて吉田首 相肯定的評価に10年要す	産経新聞	1994	3	12	
関嘉彦	アジア・太平洋戦争史観(特集 「侵略戦争」論 争)	正論	1994	5		
関嘉彦	「保障(セキュリティ)」の思想を問い直す(特集 保障と福祉と友愛と)	Kakushin	1994	5		
関嘉彦	社会主義インター東京理事会に出席して	Kakushin	1994	5		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	民社党は立党の精神堅持を／政策中心で再編の主導権取れ	産経新聞	1994	6	17	
関嘉彦	安倍博さんを悼む	改革者	1994	5・6月号		
関嘉彦	「若き運動家に望む」新・新党に民主社会主義を定着させよ(民社党第199期中央党学校青年部特別セミナー記念講演)	週刊民社				
関嘉彦	「民社党史」刊行 立党の精神受け継ぐ党員の心の拠りどころ	週刊民社	1994	10	7	
	「中道」(2)解党する公明、民社(関嘉彦インタビュー)	毎日新聞	1994	12	3	
	民社党の軌跡(上)現実路線、自社間に埋没／連携探るが補完勢力化	朝日新聞	1994	12	7	
関嘉彦	立党の精神、半分は実現	朝日新聞	1994	12	7	
安東仁兵衛	社党へ対抗、「半自民」に	朝日新聞	1994	12	7	
関嘉彦	民社党の歴史は先駆者の苦難／広い基盤で立党の精神実現を	産経新聞	1994	12	13	
関嘉彦	総括「民社党35年」(上)その世界史的位置付け	改革者	1995	1		
関嘉彦	総括「民社党35年」(下)その功績と残された課題	改革者	1995	2		
関嘉彦	「リベラル」と「民主」の意味を問う	正論	1995	3		
関嘉彦述	例会報告 健全な自由主義・民主主義社会を育てよう	新樹	1995	2	1	
高井和伸	立法府と行政府の関係	参風(参議院協会刊、創立20周年記念号)	1995	3		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	健全な肉体は健全な精神に宿る	参風(参議院協会刊、創立20周年記念号)	1995	3		
関嘉彦	自衛隊を「飾り物」にするのか	月刊民主	1995	4	1	
関嘉彦	良心的兵役拒否思想を問う／空想的平和追う — 一国独善主義	産経新聞	1995	5	16	
関嘉彦	日米関係を考える 安保条約の有効性に関する疑問／集団的自衛権の行使を認めよ	産経新聞	1995	11	2	
	会員登壇(その14) 関嘉彦先生・きき手 鈴木一弘	参風(第71号)	1995	5		
<b>12 スクラップブック 関嘉彦 1995年11月—1998年12月</b>						
関嘉彦	自由という名の秩序について (特集●あえて自由の意味を問う)	全郵政ジャーナル	1995	11		
椛澤富治	平和祈念講演会の結果概要について	平和祈念事業特別基金	1995	11	30	
田久保忠衛・新井弘一・ 関嘉彦・森田正英	平和記念講演会 戦後50年を振り返る—戦争体験をどう語り継ぐか	上記添付				
田久保忠衛・関嘉彦	ナショナリズムと日米安保 (特集●空洞化の危機に瀕した日米安保) (対談)	改革者	1996	1		
関嘉彦	河合先生の意志をついで民主社会主義を…	心泉	1996	8		
関嘉彦	追随許さぬ日本研究 (丸山眞男氏に対する追悼文)	産経新聞	1996	8	19	
Seki, Yoshihiko	Democracy in the balance	The Japan Times	1996	10	7	
関嘉彦	普通の民主国家になるために(正論)	産経新聞	1996	9	28	
関嘉彦	国会、政党は自己改革を急げ —総選挙を終えて—	月刊民社	1996	11	1	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	普通の民主国家への道(COVER TALK)	改革者	1996	12		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第一回 少年時代	改革者	1997	1		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第二回 青年時代	改革者	1997	2		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第三回 社会人一年生	改革者	1997	3		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第四回 北ボルネオ戦記	改革者	1997	4		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第五回 社会思想研究会の創設	改革者	1997	5		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第六回 都立大学教官として(上)	改革者	1997	6		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第七回 都立大学教官として(下)	改革者	1997	7		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第八回 社思研から民社研へ	改革者	1997	8		
田久保忠衛・関嘉彦	国際情勢 中国が焦点に／意義ある「日米共同宣言」／日本の安全保障を探る／憲法解釈 国会で論議を／ふつうの民主主義めざす (新春「正論」対談)	産経新聞	1997	1	3	
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第九回 国際的文化交流とのかかわり	改革者	1997	9		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十回 外国旅行で考えたこと	改革者	1997	10		
Seki, Yoshihiko	関嘉彦(米国テキサス州ヒューストン)より父親宛エアメール(葉書)	封書	1956	11	6	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
Freelandee, Douglas	Population Is Problem In Japan, Says Prof Seki	Houston Post	1956	11	6	
	死亡した隊員に弔慰金を —関嘉彦さんら呼びかけ—	産経新聞	1997	4	24	
	遺書胸に公邸突入—殉職したバレル中佐—	産経新聞	1997	4	25	
関嘉彦	感謝と共に感激の念／「哀悼の心」有意義な方法で	産経新聞	1997	5	13	
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十一回 非常勤講師から客員教授へ	改革者	1997	11		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十二回 民社研議長として	改革者	1997	12		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十三回 『自由』と『ジャパン・エコー』	改革者	1998	1		
相馬雪香／対人地雷廃絶に賛同する100人	「対人地雷の廃絶」条約だけではダメ。 (意見広告)	朝日新聞	1997	10	28	
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十四回 参議院議員時代(上) —議案審議—	改革者	1998	2		
関嘉彦	回想録—私と民主社会主義— 第十五回 参議院議員時代(中) —党務への係わり—	改革者	1998	3		
芳賀綏	(回想録への感想)	葉書	1998	3	14	
中曽根康弘	(改革者記事への感想等)	葉書	1998	3	4	
森喜朗	(回想録への記事、その他挨拶)	封書	1998	3	26	
	回想録—私と民主社会主義— 第十六回 参議院議員時代(下) —議員外交—	改革者	1998	4		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
	回想録—私と民主社会主義— 第十七回 週休七日制時代	改革者	1998	5		
	関嘉彦氏、参議院議員の六年間を振り返って (3月のサロン報告(117回))	八雲クラブ(東京都立 大学同窓会News Letter)118号	1996	4	1	
	回想録—私と民主社会主義— 最終回 エピローグ 唯一筋の道	改革者	1998	6		
加藤秀治郎	(回想録への感想)	葉書	1998	6	15	
佐伯彰一	(回想録への感想)	葉書(コピー)	1998	6	11	
関嘉彦	民主社会主義者としての半生を省みる (特別インタビュー)	改革者	1998	7		
中村信一郎	正統性付与で比類なき貢献 —関嘉彦先生の民主社会主義思想について—	改革者	1998	7		
関嘉彦	武藤さんを偲んで	改革者	1998	11		
堀江湛	民主社会主義に捧げた生涯	改革者	1998	11		
	17日「関嘉彦さんの出版を祝う会」	産経新聞(夕刊)	1998	11	18	
	永田町で背すじ伸ばし生きる	朝日新聞	1998	11	19	
(F)	関嘉彦著『私と民主社会主義』 (新樹ライブラリー)	新樹	1998	12	1	
	関嘉彦著『私と民主社会主義』の宣伝広告	日本経済新聞	1998	12	27	
<b>13 スクラップブック 関義彦 1999年1月ー</b>						
(I)	関 嘉彦著『私の民主社会主義』 —天命のままに八十余年—(今月の推薦書)	自由	1999	1		
上條末夫	民主社会主義運動の生きた歴史的文献 (関 嘉彦著『私と民主社会主義』書評)	改革者	1999	1		



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
里縞政彦	天声人語と中国の素晴らしき「老人力」 (保守派のための読書ノウト)	自由	1999	2		
	私と民主社会主義(本)	産経新聞	1999	3	24	
	ネット社会は雑誌に脅威 —ダニエル・ベル氏に聞く—	朝日新聞	1999	6	2	
坂本多加雄	20世紀精神史 第四部日本の思想 国家という存在 戦時下の共同体と公的責任 南原繁・河合栄治郎	毎日新聞	1999	6	14	
関嘉彦	「日本人への警告」教育の危機	新樹	1999	8	1	
関嘉彦	戦後民主主義の批判	月刊民社	1999	10	1	
関嘉彦	戦後日本の反省と残された課題	改革者	1999	11		
関嘉彦	星島大尉のこと	諸君	2000	7		
田久保忠衛	筆法鋭く左翼の欺瞞たたく (関嘉彦著『戦後日本の国際政治論』書評)	産経新聞	2000	12	3	
関嘉彦	関嘉彦著『戦後日本の国際政治論』 —戦後の「流れ」を理解し、二十一世紀を展望 する書—(新樹ライブラリー)	新樹	2000	12	1	
関嘉彦	正論大賞特別賞の4氏 関嘉彦氏 民主社会主義を推進	産経新聞	1999	12	22	
関嘉彦	民主社会主義の回顧と展望 —「公共の精神」の育成を— (20世紀民主社会主義の総括①)	改革者	2000	12		
加藤秀治郎	関嘉彦著『戦後日本の国際政治論』 (本の広場)	諸君	2001	1		
加藤秀治郎	関嘉彦と丸山真男、森嶋通夫論争	正論	2001	1		
橋本五郎	現代日本への悲痛な叫び (関嘉彦著『戦後日本の国際政治論』書評)	読売新聞	2001	1	7	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
芳賀紘	関嘉彦著『戦後日本の国際政治論』 (読書の時間)	正論	2001	2		
関嘉彦	民主政治(Democracy)への挑戦とその克服 —20世紀の教訓—	青春無悔(東京滝川 会)	2001	3		
うすい	(関宛の原稿御礼の手紙、上記冊子に綴じ込 み)	原稿用紙				
関嘉彦	民主政治(Democracy)への挑戦とその克服 —20世紀の教訓—(訂正前原稿)	青春無悔				
関嘉彦	ブダペストの平和記念公園 —日本人らの国際協力による建設—	新樹	2001	5	1	
関嘉彦	ブダペストの平和記念公園 —日本人らの国際協力による建設—	上記ゲラ				
	東欧革命の原点 忘れない —ハンガリー国境に”平和公園”— (地球万華鏡)	読売新聞	2001	4	8	
	近畿修猷会「与華燈会」のご案内	与華燈会	2001	6	7	
	ソ連は改革拒み”自滅” —シェワルナゼ元ソ連外相に聞く— (ソ連崩壊10年を行く)	産経新聞	2001	4	11	
久保紘之	政治家の深層心理 —田中外相を分析すると— (久保紘之の天下不穩)	産経新聞	2001	7	2	
関嘉彦	末次一郎さんの訃報に接して	新樹	2001	9	1	
古森義久	テロに武力行使は当然 —ゆがんだ日本の一部強調—(主張)	(産経新聞?)	2001	9	24	
	産経抄	産経新聞	2002	6	19	
池見哲司	沖縄戦と有事(窓)	朝日新聞	2002	6	22	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	「現代民社研」創刊によせて	現代民社研	2002	5	1	
	国連協力法(平成8年)		1996			
関嘉彦	社会主義の足跡とその今日的課題 —社会思想研究余録—	改革者	2003	3		
<b>35 書類 寄稿論文切抜 1973年—</b>						
関嘉彦	婦人参政権の意義(今月の話題)	れいろう	1977	4		
関嘉彦	民主社会主義の歴史と理論(連載第六回・最終回)	月刊富士	1977	4		
関嘉彦・永末英一・(司会)梅沢昇平	民主社会主義が世界の流れ 社会主義インターの本流・民社党 共産独裁政治と対決 連携密に自由と民主主義を守る 16の友党が政権握る 一国一党加盟だが民社は結党直後に加盟	週刊民社	1977	10	28	
関嘉彦・芳賀綾	ユーロ Kommunismus と民主社会主義 —社会主義社会をつくるという場合の社会主義の内容は一体何なのか—	革新	1977	11		
関嘉彦	ジョン・ロックと自由主義	饗宴	1975	7		
関嘉彦	民主社会主義の歴史と理論(連載第二回)	月刊富士	1977	11		
関嘉彦	民主社会主義の歴史と理論(連載第三回)	月刊富士	1977	12		
関嘉彦	「自由と民主主義」について	改革者	1977	1		
ブランド・関嘉彦	人権問題と緊張緩和について	革新	1978	2		
関嘉彦	有意義であったアジア初の首脳会議 —インター傍聴記—	革新	1978	2		
関嘉彦	社会主義インター東京会議を歓迎して	改革者	1978	1		
関嘉彦	ベルンシュタインとイギリスの思想	饗宴	1973	9		
関嘉彦	ベルンシュタインとイギリスの思想	清水幾太郎責任編集 『現代思想5 ベルンシュタイン』月報	1974	2		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
正村公宏	マルクス主義における科学と信仰	清水幾太郎責任編集 『現代思想5 ベルン シュタイン』月報	1974	2		
村瀬興雄	ベルンシュタインの晩年と社会民主主義	清水幾太郎責任編集 『現代思想5 ベルン シュタイン』月報	1974	2		
関嘉彦	西ドイツ駆けあそび	饗宴	1973	1		
関嘉彦	いわゆる「社会」契約について	産業と労働	1976	7		
関嘉彦	全英日本研究学会に出席して	日本文化会議月報	1977	8		
関嘉彦	一即多	月刊朝雲	1976	5		
関嘉彦	ノーブレス・オブリージュ	新政	1975	1		
江田三郎・関嘉彦・宮内 勇	三木政権と野党の在り方(時局対談)	時局研究会会報	1975	1	1	
関嘉彦	民主社会主義の歴史と理論(連載第四回)	月刊富士	1977			
関嘉彦	民主社会主義の歴史と理論(連載第五回)	月刊富士	1977			
編集部	民主社会主義への疑問	同盟	1976	1		
関嘉彦	「保守・革新と民主社会主義」再論	同盟	1976	1		
関嘉彦	主権在民ということ	青年モラロジアン	1976	6	15	
関嘉彦	保守・革新と民主社会主義	改革者	1975	5		
関嘉彦	民主社会主義とは何か	全郵政ジャーナル	1975	3		
関嘉彦	イギリス人と表札のこと	心	1975	11		
関嘉彦	民主主義はプラスのシンボルか —産業民主主義も日本の風土に合致させる必要—					
関嘉彦	ユーロ・コミュニズム探験記 —仏伊・の共産党は本当に変わったか—	改革者	1978	1		
Seki, Yoshihiko	Can Democracy Survive in Japan?	The Japan Foundation Newsletter	1977	10		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	石川達三氏と戦後民主主義	自由	1971	7		
関嘉彦	夢と冷汗の季節(わが青春)	革新	1975	1		
関嘉彦	「自由と民主主義」について	改革者	1977	1		
関嘉彦	エグモント公園で考えたこと	自警	1976	7		
関嘉彦	ジョン・ロックと自由主義	饗宴	1975	7		
関嘉彦	一如洞主人落書帳(随想)					
関嘉彦	修正主義についての走り書(手書きの追記あり)	心	1973	12		
関嘉彦	新春雑感	時局研究会会報	1978	1	1	
関嘉彦	元日と国旗(新春随想)	今日堂文化報	1978	1		
<b>36 書類 寄稿雑誌論文切抜 1978年一</b>						
高橋正雄・関嘉彦	労農派は革新の本流か(産業労働ライブラリー No.2)	労働問題懇話会発行冊子				
土屋清・関嘉彦・佐藤寛行	社会思想研究会の思い出—唯一筋の道・民主社会主義—(座談会)	改革者	1976	10		
関嘉彦・(きき手)佐藤寛行	民主社会主義思想を培ってきた(名誉党員にきく)					
関嘉彦	社会主義と自由主義—加藤秀治郎氏の疑問に答える—	改革者	1981	11		
関嘉彦	連合政権構想について	時局研究会会報	1979	6	15	
関嘉彦	日本共産党と民主主義	季刊現代警察	1979	冬		
関嘉彦	自由論(J.S.ミル)(私の愛読書)	文化会議(115号)	1979			
江上照彦・猪木正道・関嘉彦・(司会)土屋清	河合栄治郎—人・生涯・思想—(集中大研究)	正論	1978	12		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
E・ベルン シュタイン	いかにして科学的社会主義は可能であるか (翻訳・解説: 関嘉彦)	改革者	1973	10		
E・ベルン シュタイン	いかにして科学的社会主義は可能であるか <承前>(翻訳: 関嘉彦)	改革者	1973	11		
	無題(自筆の原稿用紙23枚)					
関嘉彦	(アンケート。元号法制定や憲法改正に関する アンケートか?)	時局研究会会報	1974	1	1	
	民主社会主義の国際的流れ	革新	1973	11		
	ブラッセルで考えたこと —人生の、そして教育の目的は、単なる幸福で あるか—(教育の窓)	小五教育技術	1961	3		
	民主主義の再検討(現代への提言)	自治研究	1971	7		
	社会主義思想の歴史	警察學論集第9巻第9 号	1956	9		
<b>39 封筒 寄稿論文切抜 1949年—1960年2月</b>						
ジョン・ストレイチャー	<特別寄稿>新しいタイプの社会主義—日本 人への忠告と教訓—	朝日ジャーナル	1960	1	3	
関嘉彦	階級政党論と民主主義	経済同友	1960	1	1	
関嘉彦	1960年の展望 政治情勢と革新政党	官公労働	1960	1		
関嘉彦	日本における社会主義の進路	全労	1959	12		
関嘉彦	日本における社会主義の進路(二)	全労	1960	1		
関嘉彦	社会党の混乱と今後の社会運動	経営者	1959	11		
関嘉彦	今後の改革は民主社会主義で	東洋経済新報(2865 号)	1959	新春特 大号		
関嘉彦	保守党と労働党	エコノミスト(1959年45 号)	1959	11	10	

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	マルクス主義の亡霊から脱皮せよ	月刊社会党	1959	7		
関嘉彦	知識人における進歩性の限界	人間専科	1959	8		
関嘉彦	社会党の危機打開の鍵	経済時代	1959	10		
関嘉彦	現代社会主義の課題	理想	1959	6		
関嘉彦	故コール教授を偲んで	あるびよん	1959	6		
関嘉彦	万年「反主流派」の人—コールを偲ぶ—	経済セミナー	1959	2		
関嘉彦	オールド・ファッションの向坂原理 —資本主義の変貌はそれをうけつけない—	経済往来	1959	2		
関嘉彦	イギリス社会主義者の現代資本主義観 —特にストレイチーを中心として—	季刊理論経済学	1959	1		
関嘉彦	「唯一筋の道」を生きた河合栄治郎	全労	1958	8		
関嘉彦	科学技術の進歩と社会主義者の任務	月刊社会党	1958	1		
関嘉彦	シドニー・ウェブ(政治思想史の人々)	法学セミナー	1958	1		
関嘉彦	社会党の経済政策批判	エコノミスト	1958	1	11	
関嘉彦	社会党と労働組合	官公労働	1957	3		
関嘉彦	政治上の民主主義 (特集 社会主義と議会主義)	民主社会主義	1957	3		
関嘉彦	イギリス社会主義の型	経済評論	1957	4		
関嘉彦	マルクス経済学発生の社会思想史的背景	経済セミナー	1957	11		
関嘉彦	イギリス社会主義の型	経済評論	1957	4		
関嘉彦	イギリス労働党の印象	自立	1956	9		
関嘉彦	日本社会党の課題とイデオロギー	中央公論	1956	5		
関嘉彦	ゲイツケル イギリス労働党のイデオロギー論	あるびよん	1956	5		
関嘉彦	R・H・トウナー(現代イギリス思想研究)	あるびよん	1955	5		
関嘉彦	社会主義への道(五)	社会思想研究	1955	8		
関嘉彦	日本社会主義思想の現状	自警	1955	6		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	社会主義政党的イデオロギー —大内・高野両氏の所論によせて—	民主社会主義	1955	5		
関嘉彦	イギリス労働党に何を学ぶか(時事解説)	全電通文化	1954	10		
関嘉彦	イギリス労働党的イデオロギー	官公労働	1954	10		
関嘉彦	言論の自由と秘密保護法	日本及日本人	1954	6		
関嘉彦	フェビアン主義の過去と現在	あるびよん	1954	1		
関嘉彦	フェビアン主義の過去と現在(承前)	あるびよん	1954	3		
関嘉彦	イギリスの社会保障 —最後の目的は人格的共同体の実現にある—	開拓者	1954	11		
関嘉彦	G・D・H・コール (現代イギリス思想研究)	あるびよん	1954	7		
関嘉彦	アトリーとベヴァン	あるびよん	1954	9		
関嘉彦	産業の国有化と産業民主主義 —イギリス労働党的実験—	民主社会主義	1954	6		
関嘉彦	ウェッブ夫妻	理想	1954	6		
関嘉彦	エドワード・カー	理想	1954	6		
関嘉彦	社会主義と知識階級 —フェビアン社会主義の成立と特色— (啓蒙運動の歴史と教訓 4)	思想	1954	10		
関嘉彦	民主的社會主義の經濟政策 —イギリス労働党的実験—	民主社会主義	1953	11		
関嘉彦	ラスキーとトーニー(書評)	あるびよん	1953	9		
関嘉彦	ジェレミー・ベンサム(社会思想家評伝)	社会思想研究	1953	11		
関嘉彦	ラスキとラッセル(書評)	社会思想研究	1953	8		
関嘉彦	英國労働党的の平和政策	理想	1951	2		
関嘉彦	英國労働党的 社会主義政策(一)	民主労働者	1951	2		



Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	英国総選挙批判 —社会民主主義の課題—	評論	1950	4		
関嘉彦	英国社会主義の危機 —英国労働党の外交政策—	思索	1949	11		
関嘉彦	革命・獨裁・民主主義 —マルクス・カウツキー主義批判—	理想	1949	12		
中野重治	政治と文學といういやな題で —よもやまの話のうち—	評論	1949	7		
宮澤俊義	人権の感覺	評論	1949	7		
向坂逸郎	「平和革命方式」の課題 —社会党運動方針書森戸案への感想—	評論	1949	7		
鈴木茂三郎	社会党再建への課題	評論	1949	7		
田邊忠男	社会党に望む	評論	1949	7		
伊藤律	大会とその後の社会党	評論	1949	7		
猪木正道	戦う社会民主主義 —オーストリア社会党に学ぶ—	評論	1949	7		
関嘉彦	社会民主主義と民主社会主義 —社会党再建のために—	評論	1949	7		
関嘉彦	文學鑑賞の思ひ出	河合栄治郎編『學生と 藝術』日本評論社刊	1940	11	23	
関嘉彦	旅の日記帳から(1)	社会思想研究	1958	12		
関嘉彦	旅の日記帳から(2)	社会思想研究	1959	1		
関嘉彦	旅の日記帳から(3)	社会思想研究	1959	2		
関嘉彦	ハイマン教授とフック教授のこと	米書だより	1958	4		
関嘉彦	イギリス労働党の人々	あるびよん	1957	3		
関嘉彦	アジアの新しい国における民主主義	外交季刊	1959	4		
関嘉彦	産業国有化の理想と現実 —英国労働党の実験から—	東洋経済(別冊)	1959	秋季号		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	自由の意味と価値 —特に文化的自由について—	自由	1959	12		
関嘉彦	アメリカで会った人々の横顔	社会思想研究	1957	8		
関嘉彦・後藤誉之助・喜多村浩・菊地庄次郎	アメリカの経済と文化について(座談会)	社会思想研究	1957	11		
関嘉彦	アメリカ人の生活と思想	社会思想研究	1957	4		
関嘉彦	都留証言について	社会思想研究	1957	6		
関嘉彦	民主社会主義政党的行くべき道	政治問題	1960	2		
<b>40 封筒 寄稿論文切抜 1960年—1965年</b>						
関嘉彦	社会主義と国際政策 —社会党と民社党の外交政策批判— (民社党の課題と問題点1)	民主社会主義研究	1962	2		
関嘉彦	参議院選挙に望む	世界と議会	1962	3		
野田福雄	研究と協力のきずな —創刊二周年にあたって—	民主社会主義研究	1962	4		
関嘉彦	産業民主主義—その系譜と問題点— (特集 産業民主主義 その1)	民主社会主義研究	1962	4		
関嘉彦	自由党に望む—先ずその体質の改善を—	新政経	1962	4	1	
関嘉彦	共産主義との現実的対決 オスロ宣言の背景と意義	世号週報	1962	6	19	
関嘉彦	一千万台テレビにおもう	調査情報	1962	8		
木村健康・関嘉彦・竹山道雄・平林たい子・林健太郎	現代社会と自由 —創刊三周年座談会—	自由	1962	12		
関嘉彦	西欧社会党と共産主義	世界の焦点	1962	9	15	
関嘉彦	「社会主義の新しいヴィジョン」をめぐって	官公労働	1963	12		
関嘉彦	イギリスにおける産業民主主義の発展	経済と経済学	1962	3		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	西欧社会党と共産主義	フォト	1962	11		
関嘉彦	共産党の民主社会主義批判に答う	全労	1962	11		
関嘉彦	社会党と憲法論	同盟	1963	7		
関嘉彦	ストレッチー「戦争防止論」を読む	心	1968	4		
関嘉彦	民主社会主義の理論家 —ストレッチーの生涯と実績—	経済セミナー	1963	9		
関嘉彦	世界平和と中立主義の意義	外交季刊	1961	10		
関嘉彦	ドイツ社会民主党の教訓	自治研修	1961	2		
関嘉彦	金のかからぬ選挙	新政経	1960	10		
関嘉彦	政治に理性を	自由	1960	12		
関嘉彦	ヨーロッパ社会主義運動の現状	民主社会主義研究	1960	9		
関嘉彦	公式論に挑む帝国主義論 (ストレッチー『帝国の終末』の書評)	朝日ジャーナル	1960	2	21	
関嘉彦	批判に答える (特集<民社党綱領の検討>)	論争	1960	春季		
関嘉彦	民主社会党暫定綱領解説	社会思想研究	1960	2		
	「民社新党」の綱領をただす 起草者関嘉彦氏 にきく	朝日ジャーナル	1960	1	24	
関嘉彦	”世界の知識人”発言のあと「進歩と自由」の 会議に出席して	朝日ジャーナル	1960	7	17	
関嘉彦	社会主義の前進のために 民社党暫定綱領の 批判に対して	経済往来	1960	3		
関嘉彦	議会政治と労働組合	人間専科	1960	3		
関嘉彦	「イデオロギー」の終末	自由	1960	5		
関嘉彦	ドイツ社会民主党の綱領	自立	1960	1	15	
関嘉彦	中ソ論争の意義	全労	1963	3		
関嘉彦	中立主義者の国際政治観	自由	1963	3		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	もっと作文の練習を	学燈	1963	3		
関嘉彦	ケネディ死後の日本の課題	社会思想研究	1963	12		
関嘉彦	色眼鏡でみた国際政治観	新政経	1963	9		
関嘉彦	星島大尉のこと	心	1963	7		
関嘉彦	産業民主主義の提唱 農業における混合政府の樹立	経済往来	1963	5		
関嘉彦	日本社会党論	官公労働	1964	4		
関嘉彦	民主主義は万能ではない	日本	1964	7		
関嘉彦・内山正熊・萩原延寿	日本の中立主義	季刊社会科学	1964	5		
関嘉彦	第一次大戦とイギリス労働党	心	1964	11		
関嘉彦	ヴィクトリア時代の労働運動	学燈	1964	11	5	
関嘉彦	お互いの心の準備はできたろうか イエス・ノウははっきりさせよう(随想 オリンピックを迎えて)	新政経	1964	10		
関嘉彦	ヴィクトリア時代のフェビアン協会(上)	学燈	1964	9		
関嘉彦	ヴィクトリア時代のフェビアン協会(下)	学燈	1964	10		
関嘉彦	日本社会党の二つの精神 理論委員会報告第二部をめぐって	官公労働	1965	2		
関嘉彦	ナショナリズムの現代的意義	新政経	1965	4		
関嘉彦	社会主義と国際政治 1930年代の英国労働党と現代日本	自由	1965	11		
関嘉彦	土地は普通の商品ではない	心	1965	4		
関嘉彦	戦後日本の思想と民主社会主義	民主社会主義研究	1965	4		
関嘉彦	イデオロギーと外交政策 イギリス労働党左派の場合	心	1964	5		
関嘉彦	スターク著「社会思想の根本形態」1962	経済と経済学	1964	6		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	イスラエルの思い出	新政経	1963	1		
関嘉彦	ヨーロッパ社会党と「中立主義」	自治研修	1963	8		
関嘉彦	ユーゴスラヴィア見聞記	心	1962	11		
<b>41 書類 関義彦雑誌論文切抜 1966年—1974年</b>						
関嘉彦	社会主義と国際政策 —一九三〇年代のイギリス労働党の国際政策—	心	1965	8		
関嘉彦	労働党政府の性格と課題	国際問題	1965	8		
関嘉彦	アジアの横顔 —台湾と香港—	改革者	1966	4		
関嘉彦	アジアの横顔 —サバとサラワク—	改革者	1966	5		
関嘉彦	アジアの横顔 —シンガポール—	改革者	1966	6		
関嘉彦	アジアの横顔 —バンコック—	改革者	1966	7		
関嘉彦	イスラエルの横顔 —議会制民主主義の国—	改革者	1966	9		
関嘉彦	イスラエルの横顔《中》 —同胞愛の理想社会—	改革者	1966	10		
関嘉彦	イスラエルの横顔《下》 —歴史の民族—	改革者	1966	11		
関嘉彦	オクスフォード通信	社会思想研究	1966	8		
関嘉彦	東欧の表情	自由	1966	11		
関嘉彦	イギリス総選挙見聞記	自由	1966	5		
ロバート・マッケンジー	英国政治のバランスシート	自由	1966	5		
関嘉彦	社会主義インター傍聴記	自由	1966	7		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	新聞記者の倫理	心	1967	6		
関嘉彦	イギリスの政党	国際時評	1967	3		
関嘉彦	イギリス選挙を省みて	同盟	1966	5		
関嘉彦	オクスフォードの生活	社会思想研究	1966	5		
関嘉彦	イギリスの社会と政治	潮	1967	3		
関嘉彦	ラッセルと英国社会主義 —社会主義における理想主義と経験主義の相異—					
関嘉彦	人類の反面教師 —ロシア革命五十周年に当たって— (特集・ロシア革命五十年)	改革者	1967	11		
関嘉彦	戦後日本の民主主義 —戦後の総合雑誌を読んで—	自由	1967	2		
関嘉彦	国際政策に国民的合意の形成を	同盟	1968	4		
関嘉彦	議会制民主主義の再検討 (特集1 現代日本の選択)	改革者	1968	7・8合併号		
関嘉彦	建設的な批判を —政治を大切にするイギリス人に学ぶ—	PHP	1968	1		
関嘉彦	大学教授の権威	自由	1968	10		
関嘉彦	一九二〇年代のイギリス労働党(上)	経済と経済学	1968	11		
関嘉彦	進歩的知識人の無責任	心	1969	12		
関嘉彦	マッチポンプ的評論家	社会思想研究	1969	1		
関嘉彦	一九二〇年代のイギリス労働党(下)	経済と経済学	1969	3		
関嘉彦	「イギリス労働党物語」余滴	心	1969	7		
関嘉彦	大学問題の思想的背景 (緊急特集 嵐の中の東京大学)	自由	1969	3		
関嘉彦	工業化と労働運動 —日本と英、独との比較—	社会思想研究	1969	11		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	天の配剤	月刊友情	1970	1		
関嘉彦	来るべき総選挙の意義 —1970年代の選択—	同盟	1969	12		
関嘉彦	民主社会主義と道徳	改革者	1969	1		
関嘉彦	民社党に直言する —総選挙の結果を省みて—	改革者	1970	2		
関嘉彦	現代政治における改革の条件 (’70日本の選択 特集富める社会の政治原理)	心情圏	1970	3		
関嘉彦	七〇年代における民主社会主義の課題	同盟	1970	6		
関嘉彦	民主主義の復権 —議会制民主主義の擁護のために—	自由	1970	3		
関嘉彦	中国問題に取り組む根本原則	改革者	1970	12		
関嘉彦	労働組合の政党支持	労使の焦点	1973	11		
関嘉彦	福祉と福祉国家	経営と道徳	1974	1		
関嘉彦	福祉国家論のおとし穴	心	1973	2		
関嘉彦	ブラント首相の東方政策	新政	1973	1・2合併号		
関嘉彦	ユーモアの精神(随筆)	経済往来	1971	6		
関嘉彦	特集 三島由紀夫の死 三島事件に思う—三島の死と民主主義—	自由	1971	2		
関嘉彦	無題(左翼事件への批判、警察の擁護)	心	1971	11		
関嘉彦	言論人の責任	心	1971	4		
関嘉彦	日本の政治状況と民社党の課題	革新	1973	6		
関嘉彦	電話の乱用(五〇〇字提言)	PHP	1973	2		
関嘉彦	資本主義と社会主義(話の広場)	アジア調査会月報	1972	3		
関嘉彦	青い眼に理解できない日本だけの民主主義	実業の世界	1973	8		

Ⅱ (補)スクラップブック詳細リスト						
著者	タイトル	掲載紙誌	年	月	日	備考
関嘉彦	「弱い国家」が望ましいのか	PHP	1971	6		
関嘉彦	権理と権利	経済往来	1973	8		
関嘉彦	バートランド・ラッセルと平和主義 (ふりずむ)	季刊社会思想(1-4)	1971			
関嘉彦	青年に期待する(道標)	道	1972	5	1	
関嘉彦	ラッセルとチャーチル	防衛大学校同窓会会報vol.9	1971			
矢島鈞次	民主社会主義の今昔(上)	革新	1973	11		
関嘉彦	西ドイツの成人教育	協働■■第3号(日本産業国民大学高等学園)				
関嘉彦	日本共産党と修正主義	日本文化会議・月報	1973	11		
関嘉彦	西ドイツ駆けあるき	饗宴	1973	1		
関嘉彦	木村健康氏の急逝を悼む	改革者	1974	2		
関嘉彦	天の配剤ということ	れいろう	1974	4		
関嘉彦	木村健康さんの急逝を悼んで	心	1974	3		
関嘉彦	岐路に立つ日本の民主主義	世界経済	1974	4		
関嘉彦	大学教師の憂鬱(教育随想)	教育ジャーナル	1974	6		



## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

	編著者名	書名	発行年
1	Hamilton, D.	Sidney and Beatrice Webb	1932
2	Harris, R. W.	Reason and Nature in the Eighteenth Century	1968
3	Harrison, J. F. L.	Robert Owen and the Owenites in Britain and America	1969
4	Harvey, R. H.	Robert Owen	1949
5	Havie, C.	Industrialisation & Culture 1830-1914	1970
6	Hassall, A.	The Making of the British Empire	19--
7	Hawkins, A.	Allegiance in Church and State	1928
8	Hay, D.	The Renaissance Debate	1965
9	Healey, D.	Neutralism	1955
10	Hegel	Gesellschaft Staat Geschichte	1931?
11	Hegel, G. W. F.	Grundlinien der Philosophie des Rechts	1955
12	Hegel, G. W. F.	Die Vernunft in der Geschichte	1955
13	Henderson, A.	Labour's Way to Peace	1935
14	Henderson, A.	Failure of a Mission	1940
15	Hill, C.	Lenin and the Russian Revolution	1953
16	Hill, C.	Reformation to Industrial Revolution	1968
17	Hirsh, H.	Eduard Bernstein Briefwechsel mit Friedrich Engels	1970
18	Hobman, D. L.	The Welfare State	1953
19	Hobson, J. A.	Imperialism	1954
20	Hobson, J. A.	The Industrial System	1969
21	Holthoorn, F. L.	The Road to Utopia	1971
22	Hodgskin, T.	Labour Defend against the Claims of Capital	1963
23	Hook, S.	Academic Freedom and Academic Anarchy	1970
24	Hook, S.	American Philosophers at Work	1957
25	Hook, S.	Determinism and Freedom in the Age Modern Science	1958
26	Hook, S.	Dialectical Materialism and Scientific Method	1954
27	Hook, S.	Heresy, Yes Conspiracy, No	1953
28	Hook, S.	Reason Social Myths and Democracy	1950
29	Hook, S.	The Paradoxes of Freedom	1964
30	Hoopers, R.	Right Reason in the English Renaissance	1962
31	Gide, C & Rist, C.	A History of Economic Doctrines	1915

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

32	Goddems, A.	Capitalism and Modern Social Theory	1971
33	Glasier, J. B.	The Meaning of Socialism	1919
34	Glass, S. T.	The Responsible Society	1966
35	Godwin, W.	The Equirer	1965
36	Golden, C. S.	Causes of Industrial Peace Under Collective Bargaining	1955
37	Gooch, G. P.	English Democratic Ideas in the Seventeenth Century	1954
38	Gooch, G. P.	History & Historians in the Nineteenth Century	1965
39	Gooch, G. P.	Political thought in England	1950
40	Goodman, E.	Forms of Public Control and Ownership	1951
41	Goodnow, F. J.	Principles of Constitutional Government	1916
42	Goodwin, M.	Nineteenth Century Opinion	1951
43	Gough, J. W.	John Locke's Political Philosophy	1950
44	Graebner, N. A.	The New Isolationism	1956
45	Graubard, S. R.	British Labour and the Russian Revolution	1956
46	Gray, J.	The Social System	1973
47	Nettleship R. L. ed.	Works of Thomas Hill Green Vol. 1	1968
48	Nettleship R. L. ed.	Works of Thomas Hill Green Vol. 2	1968
49	Nettleship R. L. ed.	Works of Thomas Hill Green Vol. 3	1968
50	Green, T. M.	Liberalism	1957
51	Greenleaf, W. H.	Order, Empiricism and Politics	1964
52	Gregg, P.	A Social and Economic History of Britain 1760-1950	1950
53	Gregg, P.	The Welfare State	1969
54	Groth, A. J.	Major Ideologies	1971
55	Gruchy, A. G.	Comparative Economic Systems	1977
56	Gupta, P. S.	Imperialism and the British Labour Movement	1975
57	Gustafsson, B.	Marxismus und Revisionismus Teil 1	1972
58	Gustafsson, B.	Marxismus und Revisionismus Teil 2	1972
59	Hadfield, A. M.	The Chartist Land Company	1970
60	Hagenbuch, W.	Social Economics	1959
61	Hale, J. R.	Machiavelli and Renaissance Italy	1963
62	Halevy, E.	A History of the English People in 1815	1938
63	Halevy, E.	The rule of Democracy 1905-1914	1961

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

64	Hall, L. J.	Men and Nations	1962
65	Hall, C.	The Effects of Civilization on the People in European Stat	1965
66	Hall, R. L.	The Economic System in a Socialist State	1937
67	Haller, W.	Tracts on Liberty in Puritan Revolution 1638-1947 Vol. 1	1979
68	Haller, W.	Tracts on Liberty in Puritan Revolution 1638-1947 Vol. 2	1979
69	Haller, W.	Tracts on Liberty in Puritan Revolution 1638-1947 Vol. 3	1979
70	Hamilton, D.	Newtonian Classicism and Darwinian Institutionalism	1953
71	Davidson, W. L.	Political thought in England Bentham to Mill	1950
72	Deiningner W. T.	Problems in Social and Political Thought	1965
73	Demolins, E.	Anglo-Saxon Superiority:	1898
74	Dewey, J.	Individualism	1931
75	Dewey, J.	Reconstruction in Philosophy	1955
76	Dicey, A. V.	Law and Opinion in England	1952
77	Dickinson, G. L.	Revolution and Reaction in Modern France	1927
78	Dickinson, G. L.	Economics of Socialism	1939
79	Lough, J. ed.	L'Encyclopedie of Diderot and D'Alembert	1954
80	Dilthey, W.	DerAufbau der Geschichtlichen Welt in den	1927
81	Dobb, M.	Political Economy and Capitalism	1950
82	International Workingmen's Association General	The General Council of the First International, 1866-1868	1965
83	Dodge, & Bard	Continuities and Discontinuities in Political Thought	1975
84	Dorfman, J.	The Economic Mid in American Civilization 1616-1865	1953
85	Douglas, C. H.	Social Credit	1933
86	Durbin, E. F. M.	Problems of Economic Planning	1949
87	Eden, A.	The Memories of Sir Anthony Eden	1960
88	Eichler, W.	Grundwerte und Grundforderungen im Godesberger Grundsatzpr	1962
89	Eichler, W.	100 Jahre Sozialdemokratie	1962
90	Eichler, W.	Individuum und Gesellschaft im Verständnis demokratischer	1970
91	Eichler, W.	Zur Einführung in den demokratischen Sozialismus	1973
92	Eichler, W.	Katholik und Godesberger Programm	1964
93	Elton, G. R.	Renaissance and Reformation 1300-1648	1968
94	Elton, L.	The Revolutionary Idea in France 1789-1871	1950

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

95	Eyck, E.	Bismarck and the German Empire	1964
96	Fain, J. T.	Ruskin and the Economists	1956
97	Faulkner, H.U.	Chartism and the Churches	1970
98	Findley, J.N.]	Hegel: a Re-examination	1962
99	Finer, H.	The Major Governments of Modern Europe	1960
100	Finer, H.	Road to Reaction	1946
101	Firth, S. C.	Oliver Cromwell	1953
102	Fischer, G.	The Revival of American Socialism	1971
103	Fourier, C.	Design for Utopia	1971
104	Fourier, C.	The Utopia Vision of Charles Fourier	1972
105	Frankel, C.	The Case for Modern man	1956
106	Frankel, C.	The Democratic Prospect	1962
107	Fuz, J.K.	Welfare Economics in England Utopia	1952
108	Gammage, R.C.	History of the Chartist Movement	1969
109	Geiger, T.	Ideologie und Wahrheit	1953
110	George, C.H.	The Protestant Mind of the English Reformation	1961
111	Cairnes, J.E.	Some Leading Principles of Political Economy	1967
112	Candar, G.	Jean Jaures (1859-1914)	1984
113	Carpenter, N.	Guild Socialism	1922
114	Carr, E. H.	The Romantic Exiles	1949
115	Carswell, C.	The Savage Pilgrimage	1932
116	Cassirer, E.	Freiheit und Form	1918
117	Cassirer, E.	The Philosophy of the Enlightenment	1955
118	Catlin, G.	A History of the Political Philosophers	1947
119	Catlin, G.	Anglo-Saxony and Its Tradition	1939
120	Chamberlain, N.	In Search of Peace	1971
121	Cicero, M. T.	Cicero's Offices	1955
122	Clark, K.	Ruskin today	1967
123	Cliford, J.L.	Man Versus Society in 18th-Century Britain	1968
124	Coates, K. ed.	Can the Workers run Industry	1968
125	Coates, K.	The Social Democrats	1983
126	Coates, D.	Labour in Power	1980

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

127	Coates, D.	The Labour Part and the Struggle for Socialism	1975
128	Cobban, A.	Edmund Burke and the Revolt Against the Eighteen Century	1962
129	Cole, G. D. H.	A Guide too Modern Politics	1934
130	Cole, G. D. H.	Socialism and Fascism 1931-1939	1960
131	Cole, G. D. H.	Labour in the Coalmining Industry 1914-1921	1923
132	Cole, G. D. H.	Marxism and Anarchism 1850-1890	1954
133	Cole, G. D. H.	Organized Labour	1924
134	Cole, G. D. H.	Principles of Economic Planning	1935
135	Cole, G. D. H.	The Forerunners 1789-1851	1953
136	Cole, G. D. H.	Social Theory	1920
137	Cole, G. D. H.	The British Common People	1961
138	Cole, G. D. H.	The Intelligent Man's Guide to the Post-War World	1948
139	Cole, G. D. H.	The Second International 1889-1914 Pt. 1	1956
140	Cole, G. D. H.	The Second International 1889-1914 Pt. 2	1956
141	Cole, M.	Robert Owen of New Lanark 1771-1858	1953
142	Cole, M.	The Life of G. D. H. Cole	1971
143	Cole, M.	The Social Services and The Webb Tradition	1946
144	Cole, M.	The Story of Fabian Socialism	1961
145	Cole, M.	The Webbs and their Work	1949
146	Cole, M.	Markers of the Labour Movement	1948
147	Copleston, F.	A History of Philosophy Vol. 7	1965
148	Cornu, A.	The Origins of Marxian Thought	1957
149	Cragg, G. R.	Reason and Authority in the Eighteenth Century	1964
150	Cripps, S.	The Struggle for Peace	1936
151	Cripps, S.	Towards Christiana Democracy	1946
152	Crossman, R. H.	Planning for Freedom	1965
153	Dahrendorf, R.	Society and Democracy in Germany	1968
154	Dalton, H.	Call Back Yesterday Memoirs 1887-1931	1953
155	Dalton, H.	High Tide and After Memoirs 1945-1960	1962
156	Dalton, H.	The Fateful Years Memoirs 1931-9145	1957
157	Dalton, H.	Hitler's War Before and After	1940
158	Dalton, H.	The Ordeal of the Captive Nations	1958

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

159	Datta, A.	For Democracy	1954
160	Datta, A.	Paths to Economic Growth	1962
161	Abrams, P.	John Locke: Two tracts on government	1967
162	Acton, L.	Essays on Freedom and Power	1955
163	Adler, Mortimer	The Idea of Freedom	1958
164	Albee, E.	A history of English utilitarianism	1957
165	Albrecht, W.P.	William Hazlitt and the Malthusian controversy	1969
166	Anschutz, R.P.	The Philosophy of J.S.Mill	1953
167	Arendt, H.	The Origins of Totalitarianism	1958
168	Aron, Raymond	Introduction to the Philosophy of History	1961
169	Aron, Raymond	La démocratie : à l'épreuve du XXe siècle	1960
170	Aron, Raymond	The Century of Total War	1955
171	Aron, Raymond	The Opium of the Intellectuals	1957
172	Aron, Raymond	The Soviet Economy	1956
173	Aron, Raymond	World Technology and Human Destiny	1963
174	Attlee, C. R.	As it Happened	1954
175	Attlee, C. R.	The Labour Party in Perspective	1937
176	Attlee, C. R.	Purpose and Policy	1946
177	Bacon, F.	The Advancement of Learning	1958
178	Baerwald, H. & Hadard	Peter H. Odegard's the American republic	1969
179	Bailey, S. D.	British Parliamentary Democracy	1966
180	Bain, A.	James Mill-A Biography	1967
181	Bernstein, E.	Die Deutsche Revolution	1921
182	Bernstein, E.	Ein Revisionistisches Sozialismusbild	1966
183	Bernstein, E.	Evolutionary socialism	1961
184	Bernstein, E.	A Ferdinand Lassalle	1969
185	Bernstein, E.	Texte zum Revisionismus	1977
186	Bernstein, E.	Zur Theorie und Geschichte des Socialismus 1	1904
187	Bernstein, E.	Zur Theorie und Geschichte des Socialismus 2	1904
188	Bernstein, E.	Zur Theorie und Geschichte des Socialismus 3	1904
189	Bernstein, S.	The Beginnings of Marxian Socialism in France	1965
190	Bevab, A.	In Place of Fear	1952

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

191	Bainton, R. H.	The Age of the Reformation	1956
192	Barber, W. J.	A History of Economic Thought	1967
193	Barker, B.	Ramsay Macdonald's Political Writings	1972
194	Barker, E.	Britain and British People	1958
195	Baron, N.	British Trade Unions	1947
196	Barry, E. E.	Nationalisation in British Politics	1965
197	Bateman, M. ed.	This England	1969
198	Baumgardt, D.	Bentham and the Ethics of Today	1966
199	Beach, W. G.	The Growth of Social Thought	1967
200	Bealey, & Pekkubg	Labour and Politics 1900-1906	1958
201	Bealey, F. ed.	The Social and Political Thought of the British Labour Par	1970
202	Bell, D. & Kristol, I.	Capitalism Today	1971
203	Bell, D.	Marxism-Lenism: A Doctrine on Defensive	1966
204	Bell, D. S. & Shaw, W.	The Left in France	1983
205	Bentham, J.	A Fragment on Government	1948
206	Bentham, J.	The Handbook of Political Fallacies	1962
207	Berlin, I.	Karl Marx his Life and Environment	1949
208	Bernstein, E.	Der Revisionismus in der Sozialdemokratie	1909
209	Bernstein, E.	Der Sozialismus Einst und Jetst	1923
210	Bernstein, E.	Die Briefe von F. Engels an E. Bernstein	1925
211	Bray, J. F.	Labour's Word and Labour's Remedy	1968
212	Breitman, R.	German Socialism and Weimar Democracy	1981
213	Birch, L.	The History of the T. U. C. 1868-1968	1968
214	Brinton, C.	English Political Thought in the Nineteenth Century	1954
215	Brinton, K.	John Stuart Mill	1953
216	Brown, J.	The English Puritans	1912
217	Browne, H.	The Rise of British Trade Unions 1825-1914	1979
218	Bryce, J.	The Roman and the British Empires	1913
219	Bush, D.	Renaissance and the English Humanism	1956
220	Cairnes, J. E.	Political Essays	1967
221	Binyon, M. A.	The Christian Socialist Movement in England	1931
222	Booth, A. J.	Saint-Simon and Saint-Simonism	1970

## 1998年度 東京都立大学経済学部へのご寄贈資料

223	Borsody, S.	The Triumph of Tyranny	1960
224	Borne, H. R. F.	The Life of John Locke Vol. 1	1969
225	Borne, H. R. F.	The Life of John Locke Vol. 2	1969
226	Bowden, W.	American Labor and the American Spirit	1954
227	Braunthal, J.	History of the International 1864-1914	1966
228	Braunthal, J.	History of the International World Socialism 1943-1968	1971
229	Bray, C.	The Philosophy Necessity	1963
230	Bray, J. F.	A voyage from Utopia	1957